



## 設備用パッケージエアコン (R410A 対応)

形名  
空冷ヒートポンプ形  
標準タイプ<床置形>  
ASVP670HA2  
ASVP800HA2  
ASVP1120HA2  
ASVP1400HA2  
ASVP1600HA2

## 取扱説明書

もくじ	
安全のために必ず守ること	2
1. 各部の名称とはたらき	6
1-1. 本体部分	6
2. リモコンの操作について	8
2-1. 操作部 (リモコン)	8
2-2. 使用方法 - 基本操作	14
2-3. 使用方法 - メニュー操作	16
2-4. 使用方法 - 各種設定操作	20
2-5. お手入れ	33
2-6. 故障かな? と思ったら	35
2-7. 初期設定 (リモコン設定)	37
2-8. サービスマニュアル	45
2-9. 故障かな? と思ったら	53
2-10. 運転温度範囲のめやす	54
3. データモニタリング機能	56
4. お手入れのしかた	66
4-1. エアフィルターの清掃	66
4-2. パネルの清掃	67
4-3. 熱交換器の洗浄	67
4-4. ユニット内部品のお手入れ	67
4-5. Vベルトの張り調整	68
5. 長期間ご使用にならないとき	69
5-1. 長期間ご使用にならないとき	69
5-2. 再度使い始めるとき	69
6. 「故障かな?」と思ったら	70
7. 保証とアフターサービス	72
8. 移設・工事・点検について	74
9. 仕様	75
9-1. 標準タイプ床置形 製品仕様表	75
9-2. 別売部品	75

- このたびは三菱重工パッケージエアコンをお買上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、必ずこの説明書をお読みください。
- お読みになったあとは、『据付工事説明書』とともに、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- 保証書は、『お買上げ日・販売店名』などの記入をお確かめの上、大切に保管してください。
- お使いになる方が代わる場合、本書と『据付工事説明書』『保証書』をお渡しください。
- お客様ご自身では、据付け・移設をしないでください。(安全や機能の確保ができません。)

# 安全のために必ず守ること

- ・この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り扱ってください。
- ・ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

## !**警告**

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度

## !**注意**

取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

- ・図記号の意味は次のとおりです。



(一般禁止)



(接触禁止)



(水ぬれ禁止)



(ぬれ手禁止)



(一般注意)



(破裂注意)



(感電注意)



(高温注意)



(回転物注意)



(一般指示)

- ・お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- ・お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

## 一般事項

### !**警告**

#### 当社指定の冷媒以外は絶対に封入しないこと。

- ・使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災のおそれあり。
  - ・法令違反のおそれあり。
- 封入冷媒の種類は、機器付属の説明書・銘板に記載し指定しています。
- 指定冷媒以外を封入した場合、故障・誤作動などの不具合・事故に関して当社は一切責任を負いません。



禁止

#### 冷やし過ぎないこと。

- ・冷やし過ぎた場合、体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。



使用禁止

#### 特殊環境では、使用しないこと。

- ・油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用した場合、著しい性能低下・腐食による冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・故障・発煙・火災のおそれあり。



使用禁止

#### 吹き出しの風が直接あたる所に燃焼器具を置かないこと。

- ・燃焼器具が不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。



使用禁止

#### 安全装置・保護装置の改造や設定変更をしないこと。

- ・圧力開閉器・温度開閉器などの保護装置を短絡して強制的に運転を行った場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- ・設定値を変更して使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- ・当社指定品以外のものを使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。



変更禁止

#### 取付作業・点検・修理をする前に周囲の安全を確認し、子どもを近づけないこと。

- ・工具などが落下すると、けがのおそれあり。



禁止

#### ヒューズ交換時は、指定容量のヒューズを使用し、針金・銅線で代用しないこと。

- ・発火・火災のおそれあり。



使用禁止

<p><b>ユニットを水・液体で洗わないこと。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。</li> </ul>  <p>水ぬれ禁止</p>	<p><b>換気をよくすること。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>冷媒が漏れた場合、酸素欠乏のおそれあり。</li> <li>冷媒が火気に触れた場合、有毒ガス発生のおそれあり。</li> </ul>  <p>換気を実行</p>
<p><b>電気部品に水をかけないこと。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。</li> </ul>  <p>水ぬれ禁止</p>	<p><b>換気をよくすること。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>燃焼器具を使用した場合、不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。</li> </ul>  <p>換気を実行</p>
<p><b>ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。</li> </ul>  <p>ぬれ手禁止</p>	<p><b>異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お買い上げの販売店・お客様相談窓口に連絡すること。</li> <li>異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。</li> </ul>  <p>指示を実行</p>
<p><b>フィルター清浄・交換など高所作業時は足元に注意すること。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>落下・転倒し、けがのおそれあり。</li> </ul>  <p>足元注意</p>	<p><b>端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取り付けること。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。</li> </ul>  <p>指示を実行</p>
<p><b>アルコール消毒した場合、周囲に充満するアルコールガスを換気して取り除くこと。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ガスを取り除かずに電源を入れた場合、引火・爆発するおそれあり。 (本製品は防爆仕様ではありません)</li> </ul>  <p>爆発注意</p>	<p><b>基礎・据付台が傷んでいないか定期的に点検すること。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ユニットの転倒・落下によるけがのおそれあり。</li> </ul>  <p>指示を実行</p>
<p><b>掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>けが・感電のおそれあり。</li> <li>ファン・回転機器により、けがのおそれあり。</li> </ul>  <p>感電注意</p>	<p><b>ユニットの廃棄は、専門業者に依頼すること。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ユニット内に充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発のおそれあり。</li> </ul>  <p>指示を実行</p>
<p><b>運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>冷媒は、循環過程で低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。</li> </ul>  <p>やけど注意</p>	
<p><b>ユニットの近くに可燃物を置いたり、可燃性スプレーを使用したりしないこと。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引火・火災・爆発のおそれあり。</li> </ul>  <p>使用禁止</p>	<p><b>ユニットの上に乗ったり物を載せたりしないこと。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ユニットの転倒や載せたものの落下によるけがのおそれあり。</li> </ul>  <p>使用禁止</p>
<p><b>殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹付けないこと。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>変形・引火・火災・爆発のおそれあり。</li> </ul>  <p>使用禁止</p>	<p><b>食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しないこと。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保存品が品質低下するおそれあり。</li> </ul>  <p>使用禁止</p>
<p><b>パネルやガードを外したまま運転しないこと。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>回転機器に触れると、巻込まれてけがのおそれあり。</li> <li>高電圧部に触れると、感電のおそれあり。</li> <li>高温部に触れると、火傷のおそれあり。</li> </ul>  <p>使用禁止</p>	<p><b>吹き出しの風が直接あたる所に動植物を置かないこと。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>悪影響のおそれあり。</li> </ul>  <p>使用禁止</p>
<p><b>運転停止後、すぐにユニットの電源を切らないこと。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運転停止から5分以上待つこと。</li> <li>ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。</li> </ul>  <p>禁止</p>	

## ⚠ 注意

<p><b>ユニットの近くに可燃物を置いたり、可燃性スプレーを使用したりしないこと。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引火・火災・爆発のおそれあり。</li> </ul>  <p>使用禁止</p>	<p><b>ユニットの上に乗ったり物を載せたりしないこと。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ユニットの転倒や載せたものの落下によるけがのおそれあり。</li> </ul>  <p>使用禁止</p>
<p><b>殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹付けないこと。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>変形・引火・火災・爆発のおそれあり。</li> </ul>  <p>使用禁止</p>	<p><b>食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しないこと。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保存品が品質低下するおそれあり。</li> </ul>  <p>使用禁止</p>
<p><b>パネルやガードを外したまま運転しないこと。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>回転機器に触れると、巻込まれてけがのおそれあり。</li> <li>高電圧部に触れると、感電のおそれあり。</li> <li>高温部に触れると、火傷のおそれあり。</li> </ul>  <p>使用禁止</p>	<p><b>吹き出しの風が直接あたる所に動植物を置かないこと。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>悪影響のおそれあり。</li> </ul>  <p>使用禁止</p>
<p><b>運転停止後、すぐにユニットの電源を切らないこと。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運転停止から5分以上待つこと。</li> <li>ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。</li> </ul>  <p>禁止</p>	

<p>ぬれて困るものを下に置かないこと。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>ユニットからの露落ちにより、ぬれるおそれあり。</li></ul>	 据付禁止	<p>電気部品を触るときは、保護具を身に付けること。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>高温部に触ると、火傷のおそれあり。</li><li>高電圧部に触ると、感電のおそれあり。</li></ul>	 けが注意
<p>部品端面・ファンや熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>けがのおそれあり。</li></ul>	 接触禁止	<p>空気の吹出口や吸入口に指や棒などを入れないこと。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>ファンによるけがのおそれあり。</li></ul>	 回転物注意
<p>水の入った容器を製品などの上に載せないこと。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>水がこぼれた場合、ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。</li></ul>	 水ぬれ禁止	<p>作業するときは保護具を身につけること。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>けがのおそれあり。</li></ul>	 けが注意
<p>フィルターを取り外す場合、保護具を身につけること。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>ホコリが目に入り、けがのおそれあり。</li></ul>	 ホコリ注意	<p>フィルターの点検・清掃は専門業者がすること。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>けがのおそれあり。</li></ul>	 指示を実行
<p>保護具を身に付けて操作すること。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>主電源を切っても数分間は充電された電気が残っている。触ると感電のおそれあり。</li></ul>	 感電注意	<p>販売店または専門業者が定期的に点検すること。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>ユニットの内部にゴミ・ほこりがたまつた場合、ドレン排水経路が詰まり、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。</li><li>においが発生するおそれあり。</li></ul>	 指示を実行

## 配管工事をするときに

### ! 警告

<p>サービスバルブを操作する場合、冷媒噴出に注意すること。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>冷媒が漏れた場合、冷媒を浴びると、凍傷・けがのおそれあり。</li><li>冷媒が火気に触れた場合、有毒ガス発生のおそれあり。</li></ul>	 冷媒注意
--	---

## 移設・修理をするときに

### ! 警告

<p>改造はしないこと。ユニットの移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼すること。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。</li></ul>	 禁止
---	---

<p>雨天の場合、サービスはしないこと。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。</li></ul>	 水ぬれ禁止
<p>分解・修理をした場合、部品を元通り取り付けること。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>不備がある場合、けが・感電・火災のおそれあり。</li></ul>	 指示を実行

### ! 注意

<p>基板に手・工具で触れたり、ほこりを付着させたりしないこと。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>ショート・感電・故障・火災のおそれあり。</li></ul>	 接触禁止
---	---

## お願い

据付・点検・修理をする場合、適切な工具を使用してください。

- ・工具が適切でない場合、機器損傷のおそれあり。

運転を開始する 12 時間以上前に電源を入れてください。

- ・ユニット運転期間中は電源を切らないこと。故障のおそれあり。

ユニット内の冷媒は回収し、規定に従って廃棄してください。

- ・法律（フロン排出抑制法）によって罰せられます。

ユニットの使用範囲を守ってください。

- ・範囲外で使用した場合、故障のおそれあり。

吹出口・吸入口を塞がないでください。

- ・風の流れを妨げた場合、能力低下・故障のおそれあり。

エアフィルターを外した状態で運転しないでください。

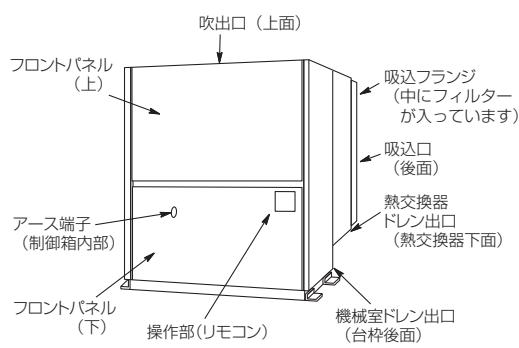
- ・ユニット内部にゴミが詰まり、故障のおそれあり。

# 1. 各部の名称とはたらき

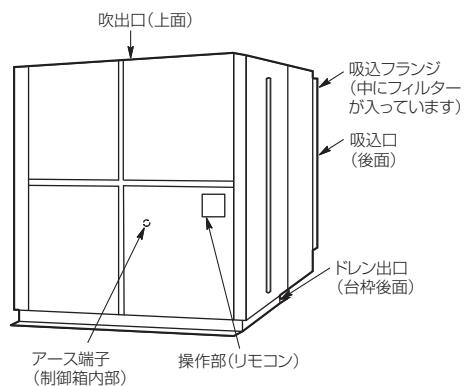
## 1-1. 本体部分

### (1) 室内ユニット

ASVP670HA2,  
ASVP800HA2

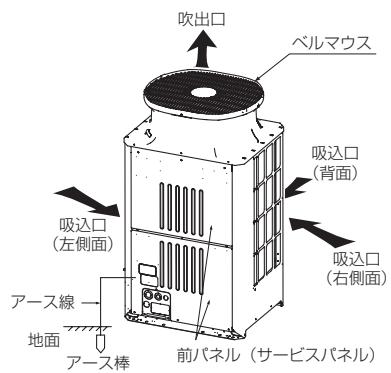


ASVP1120HA2,  
ASVP1400HA2,  
ASVP1600HA2

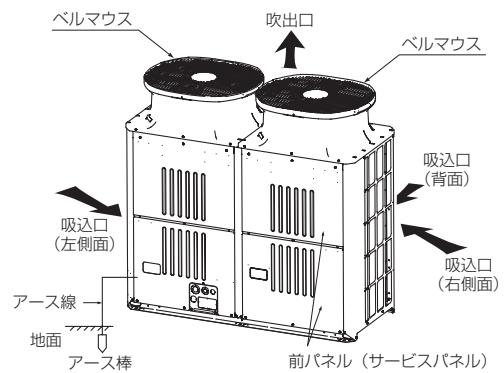


## (2) 室外ユニット

AUCV(S)P280HA2,  
AUCV(S)P335HA2,  
AUCV(S)P400HA2



AUCV(S)P450HA2,  
AUCV(S)P500HA2

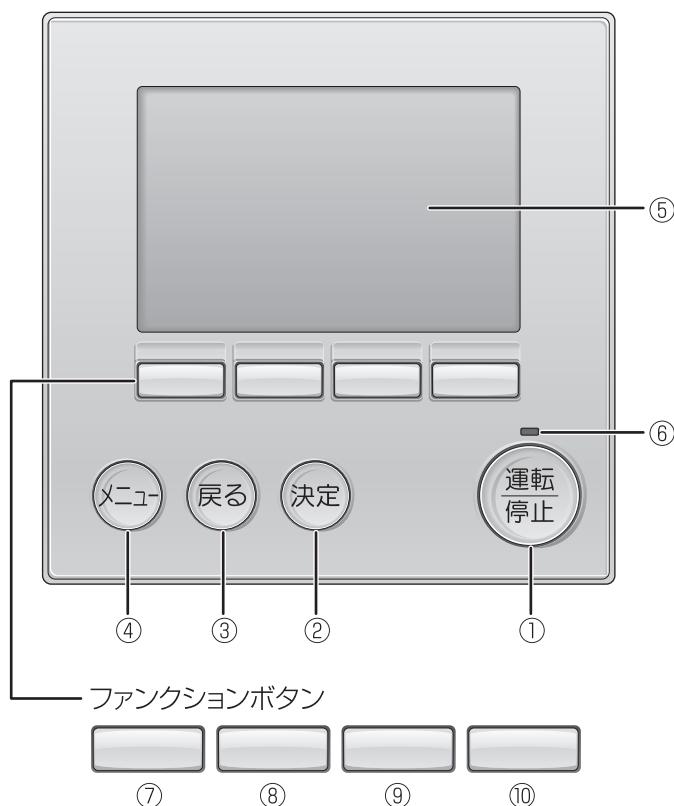


## 2. リモコンの操作について

### 2-1. 操作部（リモコン）

#### 操作部（リモコン）

操作部



### ①運転/停止ボタン

1度押すと運転し、もう1度押すと停止します。

### ②決定ボタン

設定の決定をします。

### ③戻るボタン

前の画面に戻ります。

### ④メニュー ボタン

18ページ

メインメニューを表示します。

### ⑤液晶表示部(バックライト付)

運転内容を表示します。

バックライト消灯中にボタン操作すると、バックライトが点灯します。一定時間ボタン操作が行われないと自動的に消灯します。バックライトの点灯時間は画面により異なります。

バックライトが消えている状態での最初のボタン操作は効きません。  
バックライトのみ点灯します。  
(運転/停止ボタンは除く)

### ⑥運転ランプ

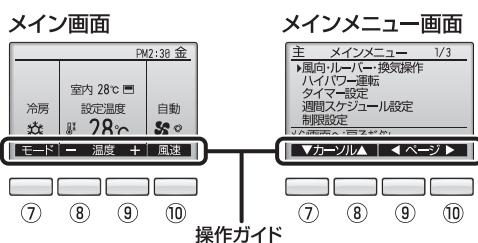
運転中、緑色に点灯します。

立上げ時・異常時は点滅します。

ファンクションボタンは操作する画面によって動作が変わります。

液晶表示下部の操作ガイドにしたがって操作してください。

集中管理中、操作ロックにより操作が禁止されている項目に対応する操作ガイドは表示されません。



### ⑦ファンクションボタン F1

メイン画面：運転モードを切換えます。

メインメニュー画面：カーソルが下に移動します。

### ⑧ファンクションボタン F2

メイン画面：設定温度を下げます。

メインメニュー画面：カーソルが上に移動します。

### ⑨ファンクションボタン F3

メイン画面：設定温度を上げます。

メインメニュー画面：前のページを表示します。

### ⑩ファンクションボタン F4

メイン画面：風速を切換えます。

メインメニュー画面：次のページを表示します。

(本機種では風速の切換はできません)

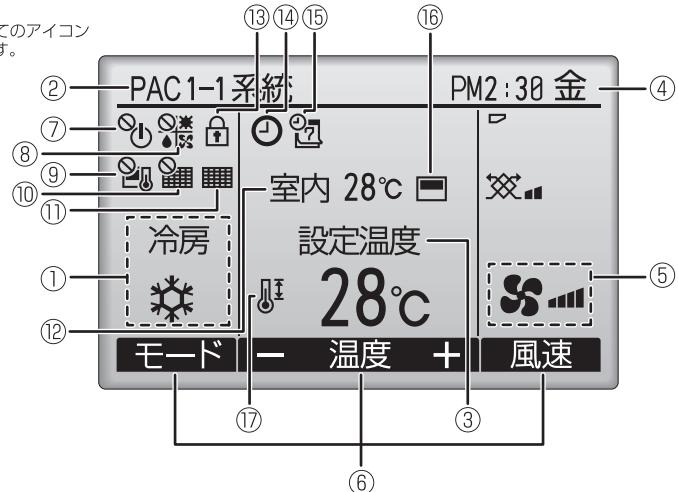
# 操作部（リモコン）

## 表示部

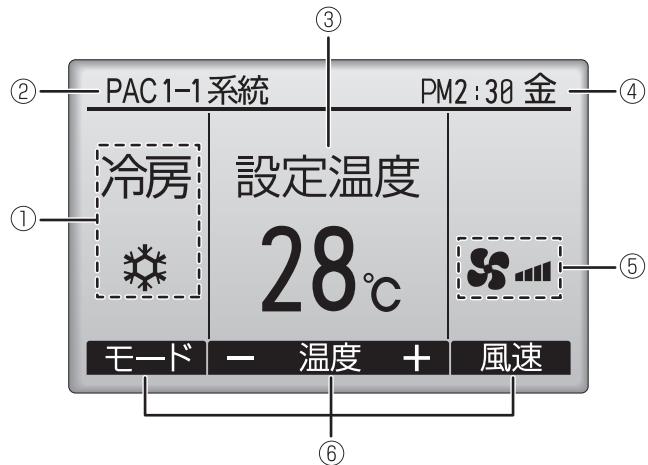
メイン画面の表示には、「詳細」と「簡易」の2種類があります。  
出荷時は詳細表示となっています。  
簡易画面への切換えは「メイン画面表示設定」で変更します。(38ページ参照)

### 詳細画面

\*説明のためすべてのアイコンを表示しています。



### 簡易画面



- ①運転モード表示** 15ページ  
運転中の状態を表示します。
- ②リモコン名表示**  
リモコンの名前を表示します。  
(異常猶予中は4桁のコードを表示します)
- ③設定温度表示** 15ページ  
設定温度を表示します。
- ④時刻表示**  
現在の時刻を表示します。
- ⑤風速表示**  
風速の状態を表示します。
- ⑥操作ガイド**  
ファンクションボタンの機能名を表示します。
- ⑦ 表示**  
発停操作が集中管理中の時に表示します。
- ⑧ 表示**  
運転モード操作が集中管理中の時に表示します。
- ⑨ 表示**  
設定温度操作が集中管理中の時に表示します。
- ⑩ 表示**  
フィルタリセット操作が集中管理中の時に表示します。

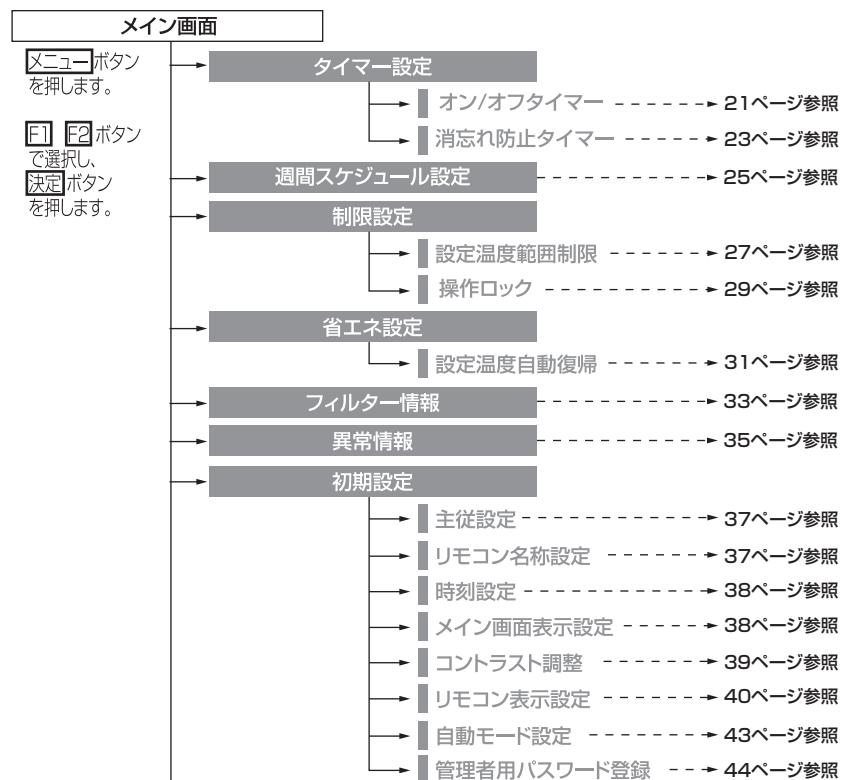
- ⑪ 表示** 33ページ  
フィルターのお手入れ・ダストボックスごみ捨て時期になると表示します。  
清掃中の時は<sup>■</sup>を表示します。

基本運転（運転／停止、運転モード切換、温度設定）以外はメニュー画面からの設定となります。(18ページ)

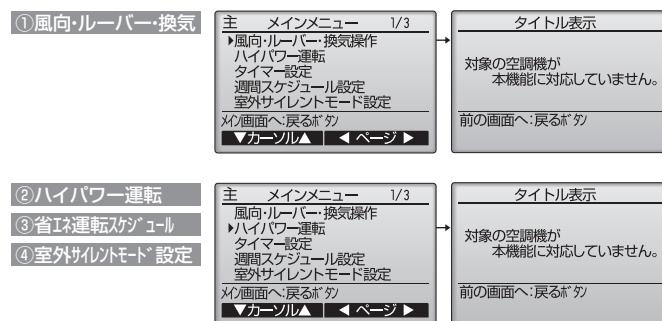
- ⑫室内温度表示**  
現在の室内温度を表示します。
- ⑬ 表示** 29ページ  
操作ロック設定が有効の時に表示します。
- ⑭ 表示** 21ページ  
オン／オフタイマー設定が有効の時に表示します。
- ⑮ 表示** 25ページ  
週間スケジュールタイマー設定が有効の時に表示します。
- ⑯ 表示**  
⑫の室内温度を検知するセンサー位置がリモコンの時に表示します。  
室内ユニットの時は<sup>□</sup>を表示します。
- ⑰ 表示** 27ページ  
設定温度範囲制限設定が有効の時に表示します。

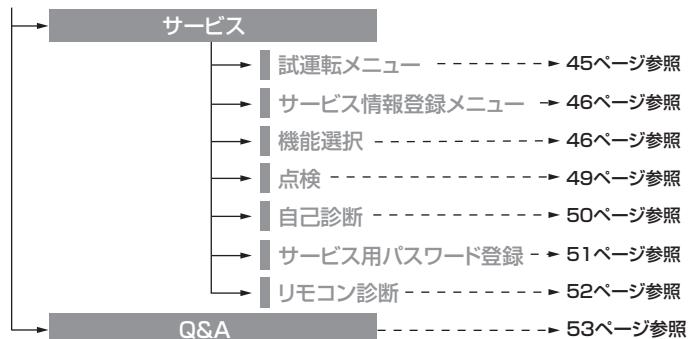
# 操作部（リモコン）

## 画面の流れ



**お知らせ** 下記①～④の機能はリモコン上では表示されますが、ご使用頂くことはできません。  
リモコンで選択しますと下記の画面が表示されます。





室内ユニットの機種により、設定できない項目があります。

## 取扱説明書内のアイコンの説明

### 使用方法

#### タイマー設定



取扱説明書内にマークがある時、以下の内容を表しています。

	<p>設定を変更する場合、管理者用パスワード入力画面が表示されます。 パスワードを入力してください。</p> <p><b>タイマー情報</b></p> <p>管理者用パスワード入力 0000</p> <p>入力確定:決定ボタン ◀カーソル▶   - +</p> <p>F1 F2 F3 F4</p> <p>※パスワードがわからない場合、異なった場合は設定変更できません。</p>	<p>F1 ボタン:カーソルが左に移動します。 F2 ボタン:カーソルが右に移動します。 F3 ボタン:数字を1減らします。 F4 ボタン:数字を1増やします。</p>		<p>主リモコンのみ操作することができます。</p>
	<p>運転中にのみ操作することができます。</p>		<p>停止中にのみ操作することができます。</p>	
	<p>冷房・暖房・自動運転中のみ操作することができます。</p>		<p>操作ロック中、集中管理中に操作することができません。</p>	

## 2-2. 使用方法 - 基本操作

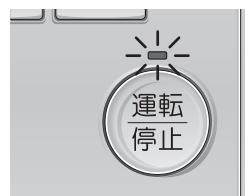
# 使用方法 - 基本操作

## 運転・停止



### 操作方法

運転



運転 / 停止ボタンを押します。  
運転ランプ（緑）が点灯し、運転を開始します。

停止



もう一度運転 / 停止ボタンを押します。  
運転ランプが消灯し、運転を停止します。

### 再運転内容

	リモコン設定内容
運転モード	前回運転モード
温度設定	前回設定温度

### 設定温度範囲

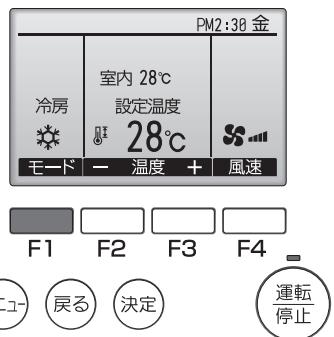
運転モード	設定温度範囲
冷房	14~30°C
暖房	17~28°C
送風・換気	設定できません。

## 運転モード・温度設定



操作方法

### 運転モード



F1 ボタンを押すごとに  
「冷房」「送風」「自動」「暖房」  
の順に変わります。

ご希望の運転に切替えます。

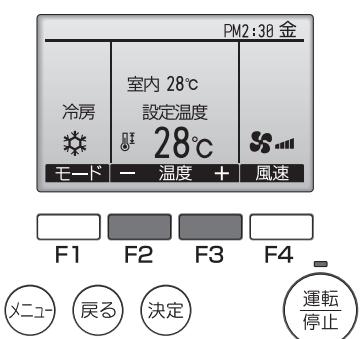


■本機種は自動モードはできません。

#### モード表示が点滅する場合

室外ユニットに接続された他の室内  
ユニットが、すでに異なる運転モード  
で運転している場合に表示します。  
他の室内ユニットの運転モードに  
合わせてください。

### 温度設定



設定温度はF2ボタンを押すごとに1°Cずつ下  
がり、F3ボタンを押すごとに1°Cずつ上がりま  
す。

■設定可能範囲は設定温度範囲(左記)を参照ください。

■送風運転の場合は設定できません。

---

## 2-3. 使用方法 - メニュー操作

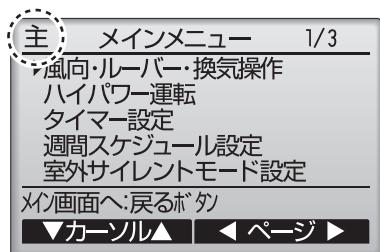
# 使用方法 - メニュー操作

## メインメニュー一覧

設定および表示項目		詳細内容	参照ページ
タイマー設定	オン/オフタイマー	運転開始時刻と停止時刻を設定します。 ■設定時刻は5分単位で設定可能です。 ※時刻設定が必要です。	21ページ
	消忘れ防止タイマー	運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ■設定時間は10分単位で30~240分まで選択可能です。	23ページ
週間スケジュール設定		1週間の運転開始時刻と停止時刻を設定します。 ■1日最大8パターンまで設定可能です。 ※時刻設定が必要です。 ※オン/オフタイマー有効中は動作しません。	25ページ
制限設定	設定温度範囲制限	設定温度の範囲を制限します。 ■運転モードによる温度範囲の制限が可能です。	27ページ
	操作ロック	指定した操作をロックします。 ■操作ロック中は指定した操作が無効となります。	29ページ
省エネ設定	設定温度自動復帰	設定時間後に設定した温度に戻ります。 ■設定時間は10分単位で30~120分まで選択可能です。 ※設定温度範囲制限が有効の時は機能しません。	31ページ

設定および表示項目	詳細内容	参照ページ
フィルター情報	フィルターサイン発生状況を表示します。 ■フィルターサインの解除を行います。	33ページ
異常情報	ユニットに異常が発生した時、異常内容を表示します。 ■異常コード、異常発生元、形名、製造番号、連絡先情報（販売店名、サービス店名、電話番号）を表示します。 ※形名以降はあらかじめ入力が必要です。	35ページ
初期設定	時刻設定	現在の時刻を設定します。
	メイン画面表示設定	メイン画面の詳細表示と簡易表示の切換えを行います。 ■デフォルト・詳細表示
	コントラスト調整	液晶の濃度の調整を行います。
Q&A	代表的なトラブルシューティングなどが表示されます。	53ページ

## 従リモコンの制約事項



従リモコンでは以下の設定ができません。  
主リモコンにて設定してください。  
主リモコンの場合、メインメニューのタイトル欄に「主」表示があります。

- タイマー設定  
(オン / オフタイマー、消忘れ防止タイマー)
- 週間スケジュール設定
- 省エネ設定  
(設定温度自動復帰)

※風向・ルーバー・換気、ハイパワー運転は設定できません。  
(12ページ参照)

# 使用方法 - メニュー操作

## メインメニュー画面での操作のしかた

操作方法

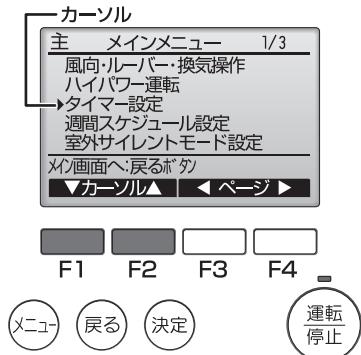
画面表示



【メニュー】ボタンを押します。

メインメニュー画面が表示されます。

項目選択



F1 ボタンでカーソルが下がります。

F2 ボタンでカーソルが上がります。

ページ移動



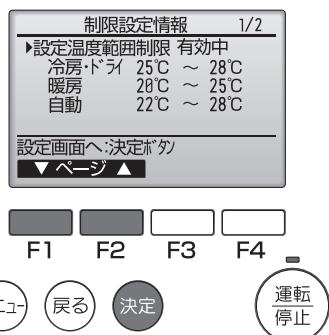
F3 ボタンで前のページを表示します。

F4 ボタンで次のページを表示します。

### [お知らせ]

・風向・ルーバー・換気、ハイパワー運転は設定できません。(12ページ参照)

# 決定



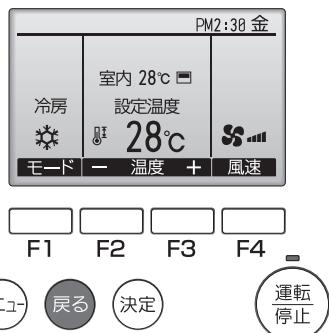
ご希望の項目を選択し、**[決定]**ボタンを押します。

選択した設定画面が表示されます。

## [お知らせ]

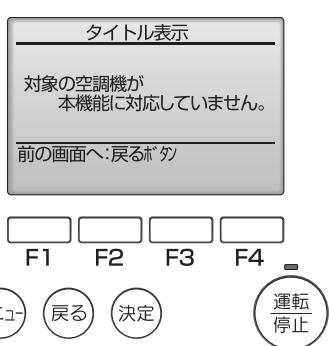
- ・ドライモード・自動モードは設定できません。  
(15ページ参照)

# 戻る



メインメニュー画面からメイン画面に戻るには  
**[戻る]**ボタンを押します。

# 機能未対応



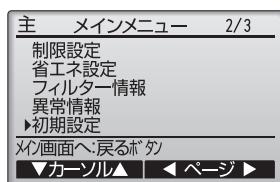
メニュー項目の選択操作を行った時、対象の室内ユニットが機能に対応していない場合、左記メッセージ画面を表示します。

## 2-4. 使用方法 - 各種設定操作

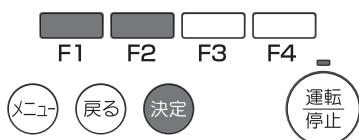
### 時刻設定

操作方法

1

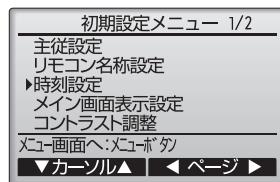


メインメニュー画面（18ページ参照）で「初期設定」を選択し、[決定]ボタンを押します。

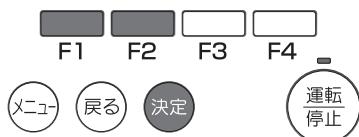


以下の設定には時刻設定が必要です。  
■オン/オフタイマー設定  
■週間スケジュール設定  
■省エネ運転スケジュール

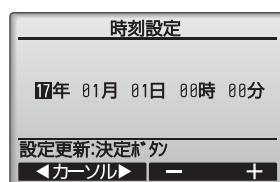
2



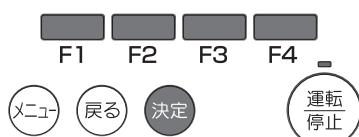
[F1][F2]ボタンで「時刻設定」を選択し [決定] ボタンを押します。



3



[F1][F2]ボタンで「年」「月」「日」「時」「分」のうち、変更したい項目を選択します。



[F3][F4]ボタンで現在の日時に変更し、[決定]ボタンを押します。

設定確定画面が表示されます。

画面移動方法  
■メインメニュー画面へ戻る・・・[メニュー]ボタン  
■前の画面に戻る・・・[戻る]ボタン

# 使用方法 - 各種設定操作

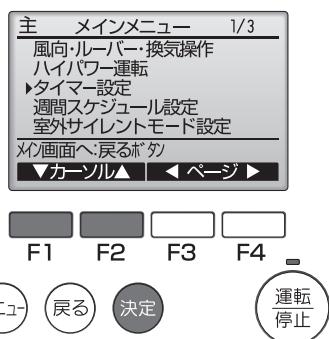
## タイマー設定

主 P

### オン / オフタイマーの設定方法

操作方法

1



メインメニュー画面（18ページ参照）で「タイマー設定」を選択し、**決定**ボタンを押します。

#### [お知らせ]

・風向・ルーバー・換気、ハイパワー運転は設定できません。（12ページ参照）

以下の場合、オン / オフタイマー設定は実行されません。  
オン / オフタイマー無効中／異常中／点検中（サービスメニュー内）／試運転中／リモコン診断中／時刻未設定／機能選択中／集中管理中（運転 / 停止が禁止の場合）

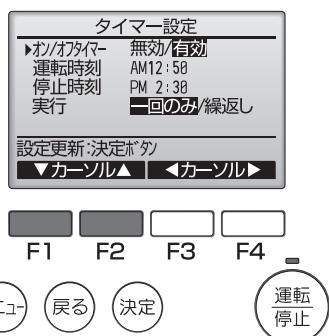
2



現在の設定状況が表示されます。

タイマー情報画面で「オン / オフタイマー」を選択し、**決定**ボタンを押します。

3



タイマー設定画面が表示されます。

**F1** **F2**ボタンで「オン / オフタイマー」「運転時刻」「停止時刻」「実行」のうち、変更したい項目を選択します。

4



[F3] [F4]ボタンでご希望の設定に切換えます。

■オン / オフタイマー 「無効」「有効」

■運転時刻 5分単位で設定

※ボタンを押し続けると連続で数字が変わります

■停止時刻 5分単位で設定

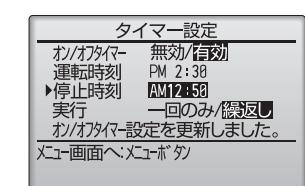
※ボタンを押し続けると連続で数字が変わります

■実行 「一回のみ」「繰返し」

5



ご希望の設定に切換えた後、[決定]ボタンを押します。

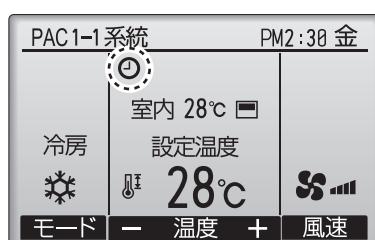


設定確定画面が表示されます。

#### 画面移動方法

■メインメニュー画面へ戻る・・・[メニュー]ボタン

■前の画面に戻る・・・[戻る]ボタン



オン / オフタイマー設定が有効の時、詳細メイン画面に「①」が表示されます。

# 使用方法 - 各種設定操作

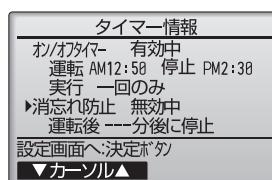
## タイマー設定

主 P

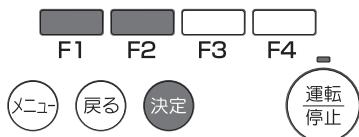
### ■ 消忘れ防止タイマーの設定方法

操作方法

1



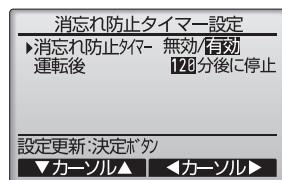
タイマー設定画面を表示します。  
(21ページ参照)



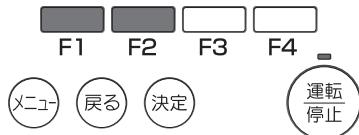
タイマー設定画面で「消忘れ防止」を選択し、  
[決定]ボタンを押します。

以下の場合、消忘れ防止タイマー運転は実行されません。  
消忘れ防止タイマー無効中／異常中／点検中（サービスメニュー内）／試運転中／リモコン診断中／時刻未設定／機能選択中／集中管理中（運転／停止が禁止の場合）

2

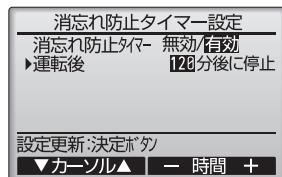


現在の設定状況が表示されます。

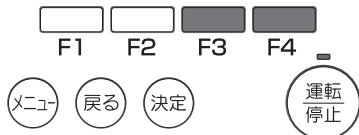


[F1] [F2] ボタンで「消忘れ防止タイマー」「運転後」のうち、変更したい項目を選択します。

3

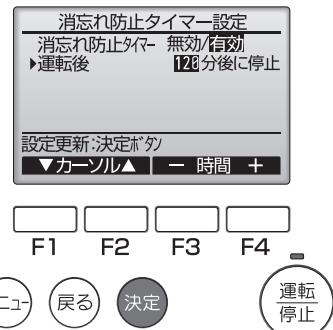


[F3] [F4] ボタンでご希望の設定に切換えます。

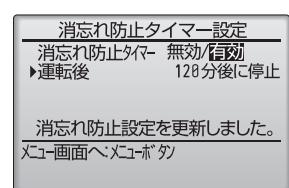


- 消忘れ防止タイマー 「無効」「有効」
- 運転後 設定範囲：30～240分  
10分単位で設定

# 4



ご希望の設定に切換えた後、**決定**ボタンを押します。



設定確定画面が表示されます。

**画面移動方法**  
■メインメニュー画面へ戻る・・・**メニュー**ボタン  
■前の画面に戻る・・・**戻る**ボタン

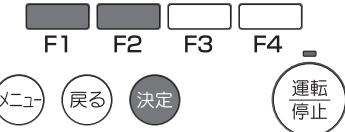
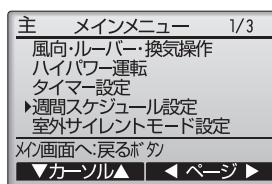
# 使用方法 - 各種設定操作

## 週間スケジュール設定

主 P

操作方法

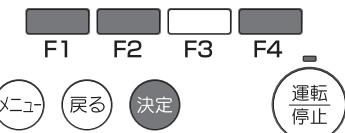
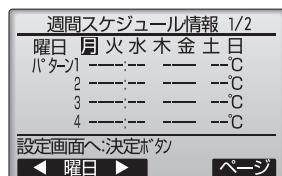
1



[注意]  
・風向・ルーバー・換気、ハイパワー運転は設定できません。(12ページ参照)

以下の場合、週間スケジュール運転は実行されません。  
オン／オフタイマー有効中／週間スケジュール無効中／異常中／点検中（サービスメニュー内）／試運転中／リモコン診断中／時刻未設定／機能選択中／集中管理中（禁止中の項目【運転／停止、設定温度】に該当する設定内容は実行されません）。

2

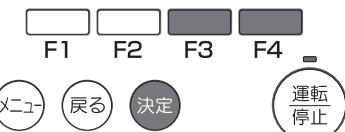
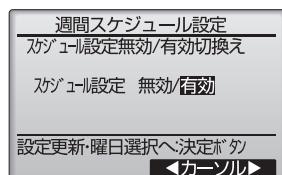


[F1] [F2] ボタンで月～日曜日までの設定内容が確認できます。

[F4] ボタンで 5～8 パターンを表示します。

設定画面へ進むには決定ボタンを押します。

3



スケジュールを有効にする場合は、[F3] [F4] ボタンで「有効」を選択し、決定ボタンを押します。

## 4



週間スケジュール設定画面が表示されます。

現在の設定状況が表示されます。

1日8パターンまで設定できます。

パターン設定を行う場合は、**F1** **F2**ボタンで曜日を選択し、**F3**ボタンを押して設定する曜日を確定します。(曜日は複数選択できます)

ご希望の曜日に選択した後、**決定**ボタンを押します。

## 5



パターン設定画面が表示されます。

**F1**ボタンでパターンを選択します。

**F2**ボタンで「時刻」「運転／停止」「温度」を選択します。

**F3** **F4**ボタンでご希望の設定に切換えます。

■時刻 5分単位で設定

※ボタンを押し続けると連続で数字が変わります

■運転／停止 「運転」「停止」

■温度 設定範囲：接続される室内ユニットの設定可能温度範囲。

ご希望の設定に切換えた後、**決定**ボタンを押します。

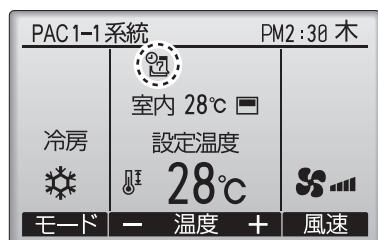
設定確定画面が表示されます。

### 画面移動方法

- 設定更新・曜日選択画面に戻る・・・**決定**ボタン
- メインメニュー画面へ戻る・・・**メニュー**ボタン
- 前の画面に戻る・・・**戻る**ボタン

当日実行する週間スケジュール設定があるとき、詳細メイン画面に「

オン／オフタイマー有効中は表示されません。



# 使用方法 - 各種設定操作

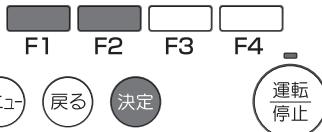
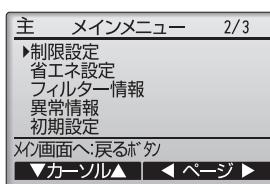
## 制限設定

P

### 設定温度範囲制限の設定方法

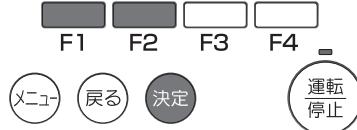
操作方法

1



メインメニュー画面（18ページ参照）で「制限設定」を選択し、**決定**ボタンを押します。

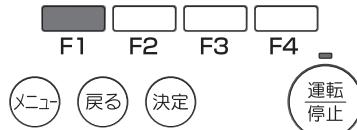
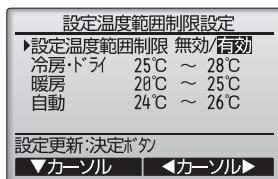
2



現在の設定状況が表示されます。

**F1** **F2** ボタンで「設定温度範囲制限」を選択し  
**決定**ボタンを押します。

3



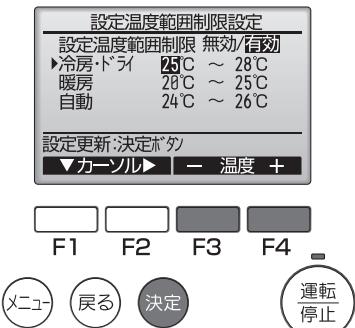
設定温度範囲制限設定画面が表示されます。

**F1** ボタンで「設定温度範囲制限」「冷房・ドライ上下限値」「暖房上下限値」「自動上下限値」のうち、変更したい項目を選択します。

#### [お知らせ]

・ドライモード・自動モードは設定できません。  
(15ページ参照)

# 4



[F3][F4]ボタンでご希望の設定に切換えます。  
 ■設定温度範囲制限 「無効」「有効」  
 ■冷房・ドライ上下限値  
 ■暖房上下限値  
 ■自動上下限値 (本機種は自動モードはできません)

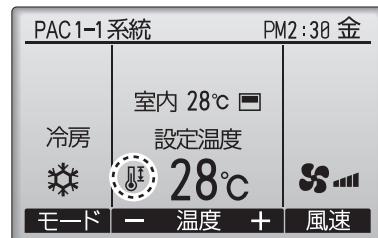
#### 設定温度範囲制限の設定範囲

モード	下限値	上限値
冷房	14~30°C	30~14°C
暖房	17~28°C	28~17°C

※ドライモード・自動モードは表示されますが、設定できません。  
 ご希望の設定に切換えた後、[決定]ボタンを押します。

設定確定画面が表示されます。

画面移動方法
■メインメニュー画面へ戻る・・・ [メニュー] ボタン
■前の画面に戻る・・・ [戻る] ボタン



設定温度範囲制限設定が有効の時、詳細メイン画面に「」が表示されます。

# 使用方法 - 各種設定操作

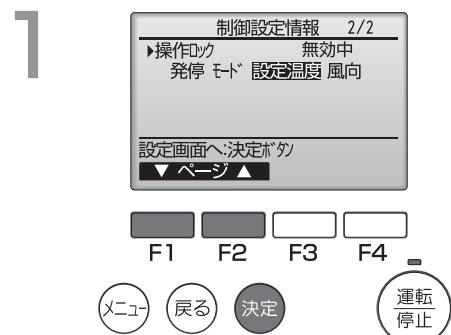
## 制限設定

P

### 操作ロックの設定方法

操作方法

操作をロックするときは  
操作ロック設定を「有効」にしてください。



制限設定画面を表示します。

(27ページ参照)

制限設定画面で「操作ロック」を選択し、  
[決定]ボタンを押します。



操作ロック設定画面が表示されます。

[F1][F2] ボタンで「操作ロック設定」「発停操作」「運転モード操作」「設定温度操作」「風向操作」のうち、変更したい項目を選択します。

[F3][F4] ボタンでご希望の設定に切換えます。

- 操作ロック設定 「無効」「有効」
- 発停操作 「-」「ロック」
- 運転モード操作 「-」「ロック」
- 設定温度操作 「-」「ロック」

[お知らせ]

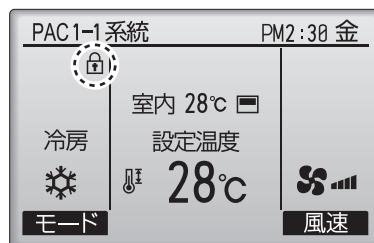
- ・風向操作は設定できません。  
(12ページ参照)

ご希望の設定に切換えた後、[決定]ボタンを押します。

設定確定画面が表示されます。

画面移動方法

- メインメニュー画面へ戻る ··· [メニュー]ボタン
- 前の画面に戻る ··· [戻る]ボタン



(設定温度ロック時の画面例)

操作ロック設定が有効の時、詳細メイン画面に  
「」が表示されます。

操作ロックに対応する操作ガイドが表示されな  
くなります。

# 使用方法 - 各種設定操作

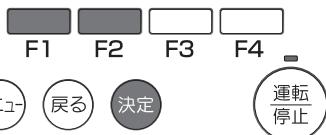
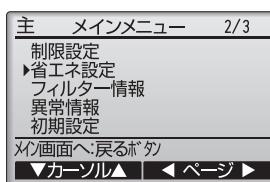
## 省エネ設定

主 P

### 設定温度自動復帰の設定方法

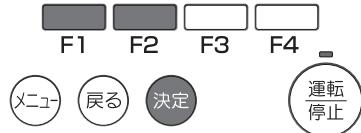
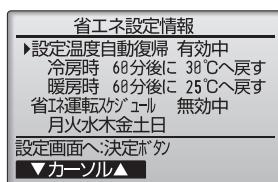
操作方法

1



メインメニュー画面（18ページ参照）で「省エネ設定」を選択し、[決定]ボタンを押します。

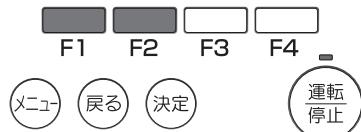
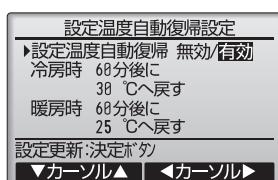
2



現在の設定状況が表示されます。

[F1][F2] ボタンで「設定温度自動復帰」を選択し、[決定]ボタンを押します。

3



設定温度自動復帰設定画面が表示されます。

[F1][F2] ボタンで「設定温度自動復帰」「冷房時」「暖房時」のうち、変更したい項目を選択します。

## 4



F3[F4] ボタンでご希望の設定に切換えます。

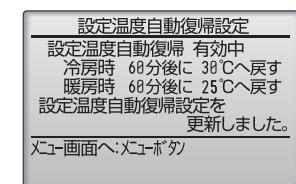
■設定温自動復帰 「無効」「有効」

■冷房時 時間の設定範囲：30 分～120 分  
(10 分単位)

温度の設定範囲：14°C～30°C

■暖房時 時間の設定範囲：30 分～120 分  
(10 分単位)

温度の設定範囲：17°C～28°C



ご希望の設定に切換えた後、[決定] ボタンを押します。

「冷房時」は自動冷房、「暖房時」は自動暖房を含みます。

設定画面が表示されます。

### 画面移動方法

■メインメニュー画面へ戻る・・・ [メニュー] ボタン

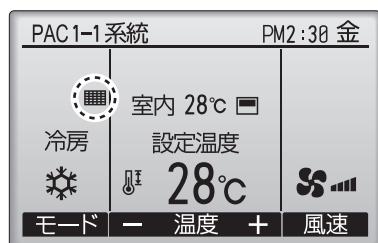
■前の画面に戻る・・・ [戻る] ボタン

設定温度範囲制限が有効中および集中管理中（禁止中の項目が「設定温度」の場合）は、  
本設定は実行されません。

## 2-5. お手入れ

# お手入れ

## フィルター情報・フィルターサイン解除

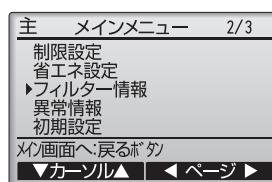


フィルターのお手入れ時期になると、詳細メイン画面に「」が表示されます。

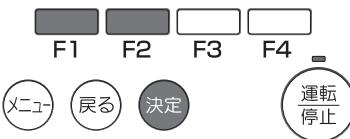
フィルターの洗浄・清掃・交換を行ってください。

### 操作方法

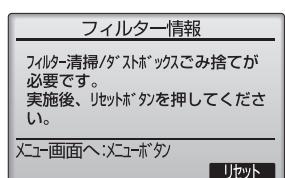
1



メインメニュー画面（18ページ参照）で「フィルター情報」を選択し、**決定**ボタンを押します。

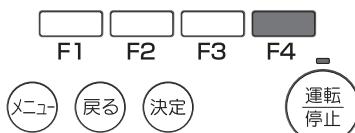


2

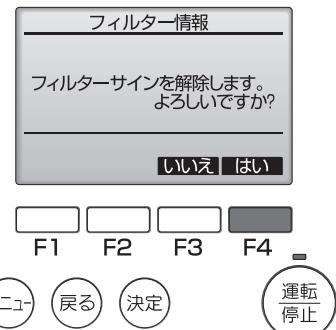


フィルター情報をリセットする場合は**F4**ボタンを押します。

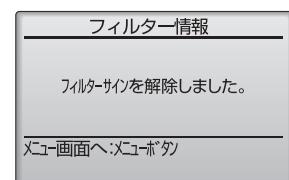
フィルター清掃のしかたについては 66ページをご覧ください。



3

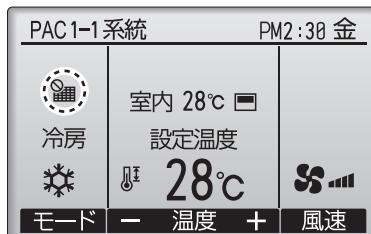


[F4]ボタンで「はい」を選択します。



設定確定画面が表示されます。

**画面移動方法**  
■メインメニュー画面へ戻る・・・[メニュー]ボタン  
■前の画面に戻る・・・[戻る]ボタン



詳細メイン画面に「」が表示されるときは、集中管理中のためフィルターサインを解除することはできません。

フィルターの種類によって清掃時期が異なる場合があります。

「」表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を目安に表示しているものです。  
環境条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。

フィルター清掃時期の積算時間は、機種により異なります。おおよそ下記の時間ごと、およびシーズン始めと終わりに清掃してください。

標準床置形 P670～1600 形：100 時間

※出荷時はフィルターサインは表示しない設定になっています。表示を行う場合は、販売店にご相談ください。

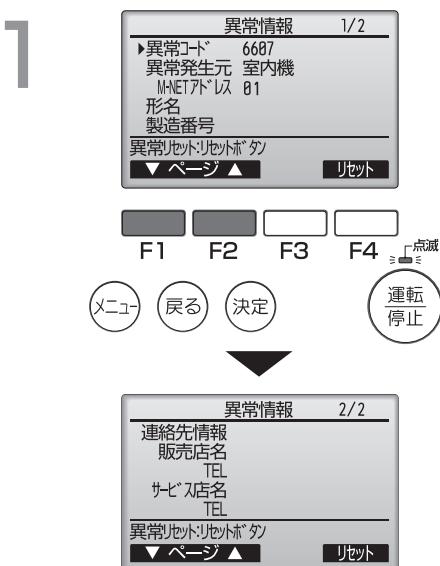
## 2-6. 故障かな？と思ったら

# 故障かな？と思ったら

## 異常情報

異常が発生した場合、以下の異常画面が表示されます。  
異常内容を確認の上、運転を停止しお買上げの販売店にご連絡ください。

### 操作方法



異常コード、異常発生元、冷媒アドレス、形名、  
製造番号が表示されます。  
形名、製造番号はあらかじめ手入力されている  
場合に表示されます。

[F1] [F2] ボタンで次のページを表示します。

連絡先情報（販売店名、販売店の電話番号、サ  
ービス店名、サービス店の電話番号）が表示さ  
れます。  
あらかじめ手入力されている場合に表示されます。

## 2

異常情報 1/2

▶異常コード 6687  
異常発生元 室内機  
MNETアドレス 01  
形名  
製造番号  
異常リセットボタン

▼ページ ▲ リセット

F1 F2 F3 F4 点滅

メニュー 戻る 決定 運転停止

発生中の異常を解除する場合は[F4]ボタンまたは  
[運転/停止]ボタンを押します。

**運転/停止操作禁止中は異常解除できません。**

異常解除

発生中の異常を解除します。  
よろしいですか?

いいえ はい

F1 F2 F3 F4

[F4]ボタンを押すと異常をリセットします。

異常解除

異常を解除しました。

メイン画面へ:メニューボタン

**画面移動方法**

- メインメニュー画面へ戻る・・・[メニュー]ボタン
- 前の画面に戻る・・・[戻る]ボタン

## 情報確認

主 メインメニュー 2/3

制限設定  
省エネ設定  
フィルター情報  
▶異常情報  
初期設定

メイン画面へ:戻るボタン

▼カーソル▲ ◀ページ ▶

F1 F2 F3 F4 点滅

メニュー 戻る 決定 運転停止

異常が発生していない時、メインメニュー画面(左記)(17ページ参照)で「異常情報」を選択すると、異常情報画面の2/2ページの内容を確認することができます。

異常リセットはできません。

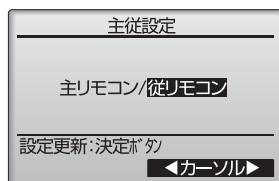
## 2-7. 初期設定（リモコン設定）

# 初期設定（リモコン設定）

## 主従設定

ペアリモコンで使用する時には必ず設定が必要です。ペアリモコンのうち1台を従リモコンに設定してください。

操作方法



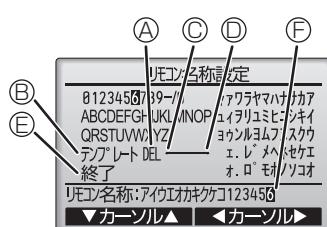
- ①メイン画面からメインメニュー→初期設定メニュー画面に移動し、主従設定を選択し[決定]ボタンを押すと、主従設定画面が表示されます。
- ②[F3] [F4]ボタンを操作すると現在選択している項目が反転表示されます。従リモコンを選択した後、[決定]ボタンにより設定更新します。
- ③設定後、[メニュー]ボタンでメインメニュー画面に戻ります。  
(以降の操作も、メインメニュー画面に戻る方法は同じです)

## リモコン名称設定

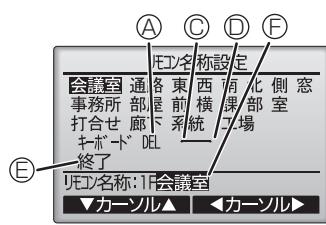


メイン画面に表示させる、リモコン名称の設定をおこないます。  
リモコン名称は半角16文字まで入力できます。(テンプレートで入力した文字は1文字あたり半角2文字分となります。)

操作方法

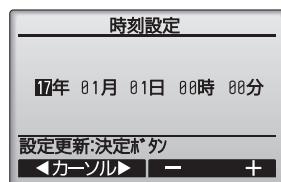


- ①メイン画面からメインメニュー→初期設定メニュー画面に移動し、リモコン名称設定を選択し[決定]ボタンを押すと、リモコン名称設定画面が表示されます。
- ②[F1]～[F4]ボタンにて文字を選択し、[決定]ボタンで1文字ずつ決定します。
- ③決定した文字を消去する場合は消去したい文字にカーソルを合わせて「DEL」④を選択し[決定]ボタンを押します。
- ④「テンプレート」⑤を選択して[決定]ボタンを押すと、テンプレートを選択してリモコン名称を入力できます。(テンプレートは変更できません。)
- ⑤「←」⑥「→」⑦を選択すると、リモコン名称の文字入力カーソル⑧の文字が対象となり文字消去、変更ができます。
- ⑥入力が完了したら、「終了」⑨を選択します。  
[決定]ボタンを押してリモコン名称を決定します。



## 時刻設定

操作方法

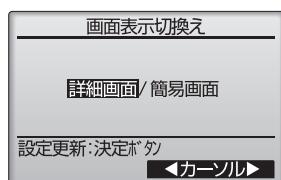


- ①メイン画面からメインメニュー→初期設定メニュー画面に移動し、時刻設定を選択し**[決定]**ボタンを押すと、時刻設定画面が表示されます。
- ②**[F1]** **[F2]**ボタンで変更する項目に移動します。
- ③**[F3]** **[F4]**ボタンにて、年月日時分を変更し、**[決定]**ボタンで設定更新します。  
設定更新したデータは、メイン画面の時刻表示に反映されます。

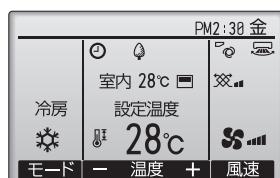
**お知らせ** 「時刻表示・週間スケジュール・タイマー動作・異常などの履歴」に必要なため、初めてご使用になるときや長期間ご使用にならなかったときは必ず設定してください。

## メイン画面表示設定

操作方法



- ①メイン画面からメインメニュー→初期設定メニュー画面に移動し、メイン画面表示設定を選択し**[決定]**ボタンを押すと、画面表示切換え画面が表示されます。
- ②**[F3]** **[F4]**ボタンにてメイン画面表示を設定します。(工場出荷時は詳細画面です。)



詳細画面(例)



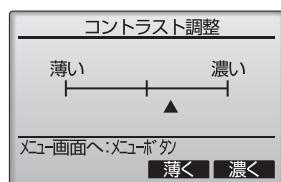
簡易画面(例)

**お知らせ** 本設定によりメインメニュー画面など、他の画面は変わりません。  
簡易画面では「タイマー、スケジュールなどの(制御)状態を示すアイコン」や「風向・ルーバー・換気・室内温度」が表示されません。

# 初期設定（リモコン設定）

## コントラスト調整

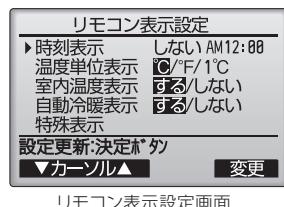
操作方法



- ①メイン画面からメインメニュー→初期設定メニュー画面に移動し、コントラスト調整を選択し**決定**ボタンを押すと、コントラスト調整画面が表示されます。
- ②**F3** **F4**ボタンにてリモコンの液晶表示のコントラストを調整します。現在の設定が▲で示されます。

**お知らせ** 据付位置や照明によって表示が見えにくい場合、コントラスト調整することにより改善する場合があります。コントラスト調整により全方向から見えやすくすることはできません。

## リモコン表示設定



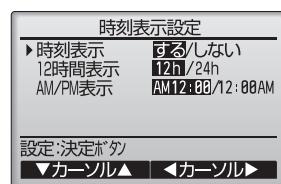
リモコン表示設定画面

①メイン画面からメインメニュー→初期設定メニュー画面に移動し、リモコン表示設定を選択し**決定**ボタンを押すと、リモコン表示設定画面が表示されます。

②リモコンの表示に関する各項目について、必要に応じ設定をおこないます。各項目を設定後、**決定**ボタンにて設定更新します。

### 時刻表示

#### 操作方法



- リモコン表示設定画面の「時刻表示」にて**F4**(変更)ボタンを押すと、時刻表示設定画面が表示されます。
- F1**～**F4**ボタンにより、メイン画面に表示する時刻表示の有無、時刻表示形式を選択します。
- 決定**ボタンにより設定を更新します。(工場出荷時は“表示する／AM12:00表示”です。)

時刻表示 : ·する(メイン画面に時刻表示します)  
·しない(メイン画面に時刻表示しません)

12時間表示 : ·24h(24時間表示)  
·12h(12時間表示)

AM/PM表示(12時間表示の時のみ有効となります) : ·AM12:00(時刻の前にAM/PM表示)  
·12:00AM(時刻の後にAM/PM表示)

**お知らせ** 12時間表示形式、12時間／24時間表示はタイマー、スケジュールなどの設定表示にも反映されます。  
12時間表示、24時間表示それぞれの表示例は以下の通りです。

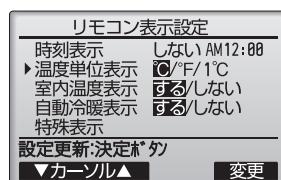
12時間表示: AM12:00 ~ AM1:00 ~ PM12:00 ~ PM1:00 ~ PM11:59

24時間表示: 0:00 ~ 1:00 ~ 12:00 ~ 13:00 ~ 23:59

# 初期設定（リモコン設定）

## 温度単位表示

操作方法



リモコン表示設定画面の、「温度単位表示」にカーソルを合わせ、**F3 F4**ボタンにて設定します。（工場出荷時は摂氏（°C）です。）  
°C：温度表示単位を摂氏表示にします。  
室内ユニットの種類により表示単位を0.5°Cまたは1°C単位で表示します。  
°F：温度表示単位を華氏表示にします。  
1°C：温度表示単位を摂氏表示（1°C単位）にします。従リモコンの場合には本項目は表示されません。

## 室内温度表示

操作方法

リモコン表示設定画面の、「室内温度表示」にカーソルを合わせ、**F3 F4**ボタンにて設定します。（工場出荷時は「する」です。）  
・する：メイン画面に室内温度を表示します。  
・しない：メイン画面に室内温度を表示しません。

**お知らせ** 「する」に設定しても簡易画面には室内温度が表示されません。

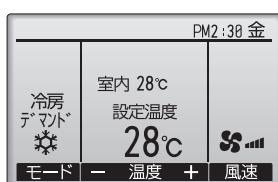
## 自動冷暖表示

操作方法

リモコン表示設定画面の、「自動冷暖表示」にカーソルを合わせ、**F3 F4**ボタンにて設定します。（工場出荷時は「する」です。）  
・する：自動モード運転時、「自動冷房」または「自動暖房」が表示されます。  
・しない：自動モード運転時、「自動」のみが表示されます。  
(本機種は自動モードはできません。)

## ■ 特殊表示

操作方法

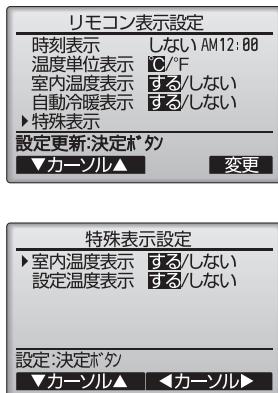


ユニットが以下の制御中は特殊表示として該当する制御名称がリモコンに表示されます。

- ・デマンド ( “デマド” を表示)

本機では、特殊表示中の室内温度、設定温度の表示有無を設定することができます。

操作方法



リモコン表示設定画面で、特殊表示を選択して特殊表示設定画面を表示します。

特殊表示（除湿、デマド、圧縮機固定表示）時の室内温度、設定温度の表示有無を設定します。

リモコンが特殊表示をしていない場合は本設定は無効となります。

[F1] [F2] ボタンにて室内温度表示、設定温度表示を選択します。

[F3] [F4] ボタンにて設定します。（工場出荷時は「する」です。）

[決定] ボタンにより設定を更新します。

### 室内温度表示

- ・する：特殊表示時、室内温度が表示されます。
- ・しない：特殊表示時、室内温度が表示されません。

**お知らせ** 「する」に設定しても簡易画面には室内温度は表示されません。  
また、室内温度の温度表示にて室内温度表示「しない」を設定している場合は本設定内容によらず、室内温度は表示されません。

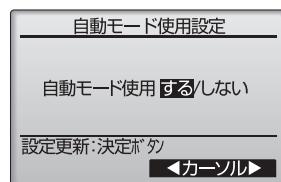
### 設定温度表示

- ・する：特殊表示時、設定温度が表示されます。
- ・しない：特殊表示時、設定温度が表示されません。

# 初期設定（リモコン設定）

## 自動モード設定

操作方法

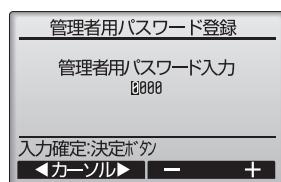


- ①メイン画面からメインメニュー→初期設定メニュー画面に移動し、自動モード設定を選択し**決定**ボタンを押すと自動モード使用設定画面が表示されます。
- ②自動運転モード機能のある室内ユニットに接続した場合、自動モード使用、不使用を**F3** **F4**ボタンにて設定します。（工場出荷時は使用「する」です。）  
**決定**ボタンにより設定を更新します。
  - ・する：運転モード選択時に自動モードを表示します。
  - ・しない：運転モード選択時に自動モードを表示しません。

※本機種は自動モードはできません。

## 管理者用パスワード登録

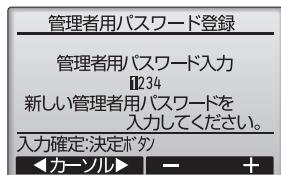
### 操作方法



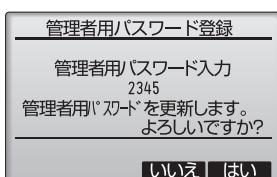
- ①メイン画面からメインメニュー→初期設定メニュー画面に移動し、管理者用パスワード登録を選択し**[決定]**ボタンを押すと、管理者用パスワード登録画面が表示されます。
- ②最初に現在設定されている管理者用のパスワード（数字4桁）を入力します。  
**[F1]** **[F2]** ボタンで桁を選択し、**[F3]** **[F4]** ボタンにて0～9の数字を設定します。
- ③4桁のパスワードを入力後、**[決定]**ボタンを押します。

**お願い** 管理者用パスワードの初期値は「0000」です。管理者以外の方が設定変更しないよう、必要に応じパスワードを変更してください。  
パスワードは必要な方が分るよう適切に管理してください。

**お知らせ** 管理者パスワードを忘れてしまった場合、管理者用パスワード登録画面にて**[F1]** **[F2]** ボタンを同時に3秒連続押しすると、パスワードを「0000」に初期化できます。



- ④パスワードが一致すると新規パスワード入力画面になります。  
同じ要領で新しい管理者用パスワードを設定し、**[決定]**ボタンを押します。

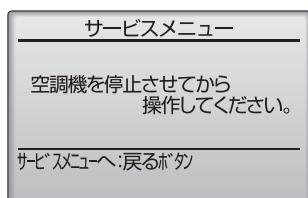


- ⑤パスワード更新確認画面が表示されますので、**[F4]** (はい) ボタンにて更新します。  
取り消す場合は**[F3]** (いいえ) ボタンを押します。

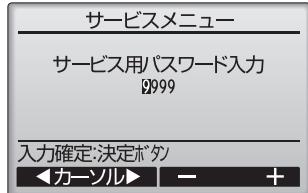
**お知らせ** 管理者用パスワードは下記項目の設定時に必要となります。  
・タイマー設定　・週間スケジュール設定　・制限設定　・省エネ設定  
各設定の詳細は本リモコンの取扱説明書を参照してください。

## 2-8. サービスマニュ

# サービスメニュー



**お知らせ**  
サービスメニューの項目によっては空調機を停止させる必要があります。

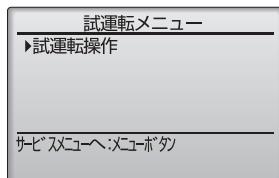


※サービスメニューを選択するとパスワード入力画面が表示されます。  
現在設定されているサービス用のパスワード（数字4桁）を入力します。  
[F1] [F2]ボタンで桁を選択し、[F3] [F4]ボタンにて0~9の数字を設定します。  
4桁のパスワードを入力後、[決定]ボタンを押します。  
パスワードが一致すると、サービスメニューが表示されます。

**お願い** サービス用パスワードの初期値は「9999」です。管理者以外の方が設定変更しないよう、必要に応じパスワードを変更してください。  
パスワードは必要な方が分かるよう適切に管理してください。

**お知らせ** サービス用パスワードを忘れてしまった場合、サービス用パスワード入力画面にて[F1][F2]ボタンを同時に3秒連続押しするとパスワードを「9999」に初期化できます。

## 試運転

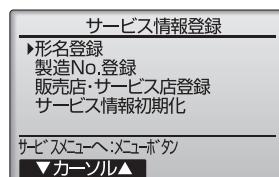


サービスメニューにて「試運転」を選択すると、試運転メニュー画面が表示されます。

- ・試運転操作：試運転をおこないます。

**お知らせ** 試運転の詳細については室内ユニットの据付工事説明書の「試運転」項目を参照してください。

## サービス情報登録



サービスメニューにて「サービス情報登録」を選択すると、サービス情報登録画面が表示されます。

操作方法の詳細については室内ユニットの据付工事説明書を参照してください。

### お知らせ

サービス情報登録メニューでは下記の設定が行えます。

- ・ 形名登録、製造No.登録  
室外ユニット、室内ユニットの形名、製造番号を登録します。登録した内容は異常情報画面に表示されます。形名は半角18文字、製造番号は半角8文字まで入力できます。
- ・ 販売店・サービス店登録  
販売店名、サービス店名および電話番号を登録します。登録した内容は異常情報画面に表示されます。店名は半角10文字、電話番号は半角13文字まで入力できます。
- ・ サービス情報初期化  
形名登録内容、または販売店・サービス店登録を選択し、登録内容を全て初期化します。

## 室内ユニットの機能選択

リモコンからの設定により、室内ユニットの余熱排除時間・モードを変更できます。

※本設定が有効中は、室内制御基板のSW3-6（余熱排除時間）設定は無効となります。

### 余熱排除時間変更の設定方法

#### 設定方法



リモコンのサービスメニュー画面で、[F1][F2]ボタンを操作し、「機能選択」を選択し、[決定]ボタンを押してください。

# サービスメニュー

2

機能選択	
M-NETアドレス	1
機能設定No	32
機能設定値	2
実行内容選択 設定 / 確認	
実行:決定ボタン ▼カーソル▲   - アドレス +	

F1 F2 F3 F4

メニュー 戻る 決定 運転停止

リモコンに接続された室内ユニット（制御基板）の最小アドレスが検索されます。F1 F2 F3 F4ボタンを操作し、余熱排除モード・時間を変更したい室内ユニット（制御基板）のM-NETアドレスを設定し、機能設定No.を「32」、機能設定値を「2」、実行内容選択を「設定」に設定し、決定ボタンを押してください。

3

機能選択	
M-NETアドレス	1
機能設定No	32
機能設定値	2
設定完了	
前の画面へ:戻るボタン	

F1 F2 F3 F4

メニュー 戻る 決定 運転停止

設定が完了すると画面中央に「設定完了」と表示されます。

4

機能選択	
M-NETアドレス	2
機能設定No	71
機能設定値	2
実行内容選択 設定 / 確認	
実行:決定ボタン ▼カーソル▲   - アドレス +	

F1 F2 F3 F4

メニュー 戻る 決定 運転停止

戻るボタンを押し、機能選択画面に戻り、F1 F2 F3 F4を操作し、余熱排除モードを変更したい室内ユニット（制御基板）のM-NETアドレスを設定し、機能設定No.を「71」に、機能設定値を「下表から設定したいモードの設定値」に、実行内容選択を「設定」に設定し、決定ボタンを押してください。

機能設定No.	機能設定値
71	1:暖房 2:全モード

5

機能選択	
M-NETアドレス	2
機能設定No	71
機能設定値	2
設定完了	
前の画面へ:戻るボタン	

F1 F2 F3 F4

メニュー 戻る 決定 運転停止

設定が完了すると画面中央に「設定完了」と表示されます。

6



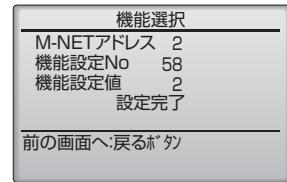
F1 F2 F3 F4

メニュー 戻る 決定 運転停止

【戻る】ボタンを押し、機能選択画面に戻り、[F1] [F2] [F3] [F4] を操作し、余熱排除時間を変更したい室内ユニット（制御基板）のM-NETアドレスを設定し、機能設定No.を「58」に、機能設定値を「下表から設定したい時間の設定値」に、実行内容選択を「設定」に設定し、[決定]ボタンを押してください。

機能設定No.	機能設定値
58	余熱排除時間 1 : 1分 2 : 2分 3 : 3分5秒 4 : 4分 5 : 5分 6 : 6分 7 : 余熱排除なし

7



F1 F2 F3 F4

メニュー 戻る 決定 運転停止

設定が完了すると画面中央に「設定完了」と表示されます。

※1 室内ユニット内に複数制御基板のある機種は、全ての制御基板の設定を2～7の操作により同一設定にしてください。

※2 室内制御基板をサービス交換した場合、再設定が必要です。

室内制御基板を交換したときは、必ず1～7の操作により設定してください。その際、交換前の設定値が必要となるため、設定値を以下の表に記入しておいてください。

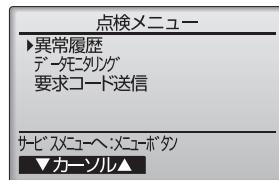
機能設定No.	機能設定値
58	
71	

※3 室内制御基板のSW3-6（余熱排除時間）の設定を有効にしたい場合、室内ユニット停止中に、2、3の操作と同様にして機能設定No.32の機能設定値を「1」に設定してください。このときリモコンから設定した余熱排除時間・モードは無効となります。

また、再度リモコンからの余熱排除時間・モードを有効にしたい場合、1～7の操作により再設定してください。

# サービスメニュー

## 点検



サービスメニューにて「点検」を選択すると、点検メニュー画面が表示されます。

異常履歴 1/4		
異常コード	号機	発生日時
6607	1	08/04/12 12:34
6607	1	08/04/12 12:34
6607	1	08/04/12 12:34
6607	1	08/04/12 12:34

点検メニューに戻る:戻るボタン  
▼ ページ ▲ 消去

### ①異常履歴

点検メニューにて「異常履歴」を選択し、**決定**ボタンを押すと異常履歴を最大16件表示します。

各ページに4件ずつ表示され、1/4ページの先頭の表示が最新の異常履歴となります。

### 【異常履歴消去】

異常履歴が表示されている画面で**F4**(消去)ボタンを押すと、異常履歴消去の確認画面が表示されます。

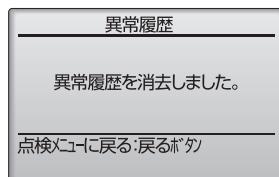
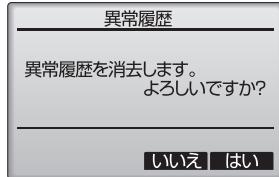
**F4**(はい)ボタンを押します。

「異常履歴を消去しました。」が表示されます。  
**戻る**ボタンを押して、点検メニュー画面に戻ります。

### ②他の点検メニュー項目

点検メニューでは、異常履歴の他に以下の項目があります。

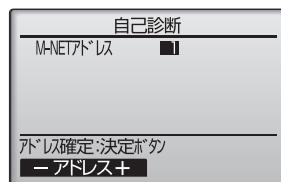
- ・データモニタリング
- ・要求コード送信



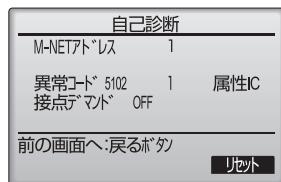
## 自己診断

リモコンにて各ユニットの異常履歴を検索します。

操作手順

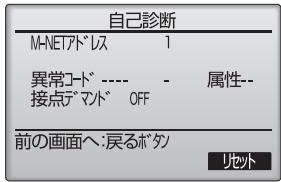


- ①サービスメニューにて「自己診断」を選択し、  
[決定]ボタンを押すと自己診断画面を表示します。
- ②[F1] [F2] ボタンにてM-NETアドレスを設定し、  
[決定]ボタンを押します。

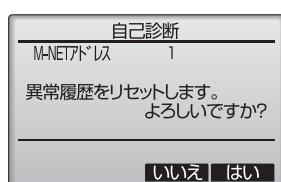


- ③異常コード・M-NETアドレス・属性・室内ユニットの接点デマンドON/OFF状態が表示されます。

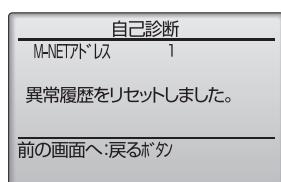
異常履歴が無い場合は、「-」が表示されます。



異常履歴が無い場合の画面例



- 【異常履歴リセット】
- ①異常履歴表示中に[F4] (リセット) ボタンを押すと確認画面が表示されます。



- ②確認画面にて[F4] (はい) ボタンを押すと室内ユニットの異常履歴を消去します。  
消去できなかった場合は「正常に終了できませんでした。」ユニットから応答が無い場合は  
「対象室内ユニットが存在しません。」を表示します。

# サービスメニュー

## サービス用パスワード登録

サービスメニューの操作をおこなうためのパスワードを変更します。

操作手順

サービス用パスワード登録  
サービス用パスワード入力  
234  
新しいサービス用パスワードを  
入力してください。  
入力確定:決定ボタン  
◀カーソル▶ | - +

①サービスメニューにて「サービス用パスワード登録」を選択し、[決定]ボタンを押すと新規パスワード登録画面を表示します。

②[F1][F2]ボタンで桁を選択し、[F3][F4]ボタンにて0~9の数字を設定します。

③4桁のパスワードを入力後、[決定]ボタンを押します。

サービス用パスワード登録  
サービス用パスワード入力  
2345  
サービス用パスワードを  
更新します。  
よろしいですか?  
いいえ | はい

④パスワード更新確認画面が表示されますので、[F4](はい)ボタンにて更新します。

取り消す場合は[F3](いいえ)ボタンを押します。

サービス用パスワード登録  
サービス用パスワード入力  
2345  
サービス用パスワードを  
更新しました。  
サービスメニューへ:メニューボタン

⑤パスワード更新の場合は、更新完了画面が表示されます。

⑥[メニュー]ボタンにてサービスメニューへまたは[戻る]ボタンで「サービス用パスワード登録画面」に戻ります。

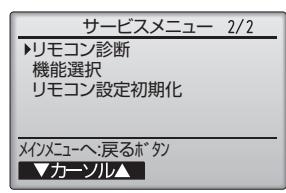
## リモコン診断

リモコンからの操作がきかない場合、本機能によりリモコン診断を行ってください。

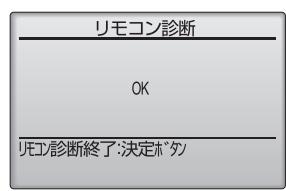
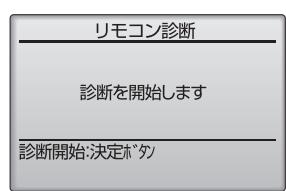
(1) まずはリモコン表示の有無を確認してください（罫線含む）

リモコンに正常な電圧 (DC8.5~12V) が印加されていない場合、リモコンには何も表示されません。この場合は、リモコン配線、室内ユニットを点検してください。

操作手順



リモコン診断への移行画面



リモコン診断結果の画面

①サービスメニューにて「リモコン診断」を選択し、[決定]ボタンを押すとリモコン診断を開始し、結果を表示します。

リモコン診断を行わない時は、[メニュー]または[戻る]ボタンを押すと、リモコン診断メニューから抜けることができます。  
この時、リモコンは再立上げを行いません。

OK : リモコンに問題はありません。他の原因を調査してください。

6832 : 伝送線にノイズがのっている、あるいは室内ユニット、他のリモコンの故障が考えられます。伝送路、他のコントローラを調査してください。

NG (ALLO, ALL1) :  
リモコン送受信回路不良です。リモコンの交換が必要です。

ERC (データエラー数) :  
データエラー数とはリモコンの送信データのビット数と実際に伝送路に送信されたビット数の差を示します。この場合、ノイズなどの影響で送信データが乱れています。伝送路を調査してください。

②リモコン診断結果表示後、[決定]ボタンを押すとリモコン診断を終了し、自動的に再立上げが行われます。

## 2-9. 故障かな？と思ったら

# 故障かな？と思ったら

## Q&A

下記のようなQ&Aを見ることができます。

- 代表的なトラブルシューティング
- 通常画面に表示されるアイコンの意味

操作方法

1

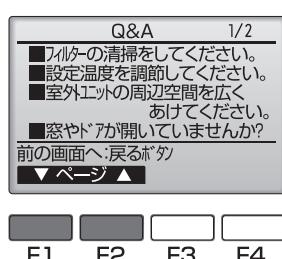


メインメニュー画面（18ページ参照）で「Q&A」を選択し、[決定]ボタンを押します。

2



[F1] [F2]ボタンにて状況を選択し [決定] ボタンを押します。



選択した状況に対する、対応方法が表示されます。  
項目により複数のページがある場合は、[F1] [F2] ボタンでページを切替えます。

**画面移動方法**

- メインメニュー画面へ戻る・・・[メニュー]ボタン
- 前の画面に戻る・・・[戻る]ボタン

## 2-10. 運転温度範囲のめやす

### ■標準(床置タイプ)

#### ・冷房

	室内側吸込空気	室外側吸込空気
乾球温度	—	—5～43℃
湿球温度	10～25℃ (※1)	—

#### ・暖房

	室内側吸込空気	室外側吸込空気
乾球温度	15～28℃	—
湿球温度	—	—20～15.5℃

※1 露点温度 23℃以上で長時間運転されると、室内ユニットの結露水が垂れて水漏れに至るおそれがあります。

#### 【お願い】

室内空気と混合した外気を導入する場合は、十分混合すると共に「運転温度範囲のめやす」の室内側吸込空気の温度になるまで一次処理してください。

### 2-10-1. もっと知りたいとき

#### 暖房運転について

- 運転を停止しても風が出る：運転停止後約1分間室内ユニット内の余熱を排熱するために、室内ファンが回ることがあります。  
また、別売ペーパーバン加湿器を組んだ場合は、水蒸気発生防止のため約3分間室内ファンが回ることがあります。

#### 送風運転

- 送風運転は、お部屋の空気を循環させる働きをします。換気装置との連動運転を行うと、より効果的な換気ができます。

#### 霜取中とは

- 外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かす運転を行っているときに表示します。  
霜取運転は約7分程度（最大12分）で終わります。
- 霜取運転を行っているときは、室内ユニットの熱交換器が冷たくなりますので、送風機を停止しています。  
※設定により霜取中も送風機が運転することがあります。設定についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

#### 換気運動運転とは

- エアコンの運転を開始すると、自動的に換気装置も運転を開始し、室内空気と新鮮な外気とを混合させ、より効果的な換気を行うものです。

## 2-10-2. 上手な使い方

上手な使い方 “インバーターエアコン” を上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。

### 室内温度（室温）は最適に

- 冷房運転では室内と室外の温度差を 5°C 以内にするのが最適です。
- 冷やしすぎは健康にもよくありません。電力のムダ使いにもなります。  
たとえば冷房のとき設定温度を 1°C 上げると約 10% の電力が節約できます。



### 長時間直接お肌に風をあてない

- 長時間エアコンの風が直接身体にあたると体調を悪くしたり、健康障害の原因になります。
- 特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。エアコンの風を直接肌にあてないでください。



### ときどき換気を

- 長時間、閉め切った部屋では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。
- 送風運転は、お部屋の空気を循環させるはたらきをします。
- 冷房・暖房運転をしない中間期に換気扇との連動運転をしますと、より効果的な換気ができます。



### 冷房時は熱の侵入を少なく

- 冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしましょう。
- 出入口は必要なとき以外は開けないようにしましょう。



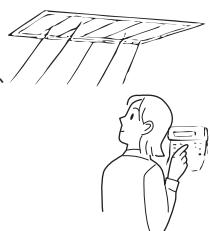
### フィルターの清掃を

- フィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、冷房・暖房能力が落ちます。電力のムダ使いとなります。  
また、露付き・露たれの原因にもなります。
- フィルターは通常の環境では 34 ページに記載の時間ごとおよびシーズンの始めと終わりに清掃してください。
- 操作部（リモコン）は、フィルターサイン表示が可能です。



### 室内の温度ムラ解消に風向調節を

- 冷房時、肩などに直接風が当たり体調を悪くすることがあります。冷たい空気は重いので水平吹出しなどにして、上方から冷やすよう風向を調節してください。
- 暖房時、足元が寒いのは、冷たい空気は重いので床の近くに溜まるからです。  
下吹出しなどにして風向を調節してください。



### 3. データモニタリング機能

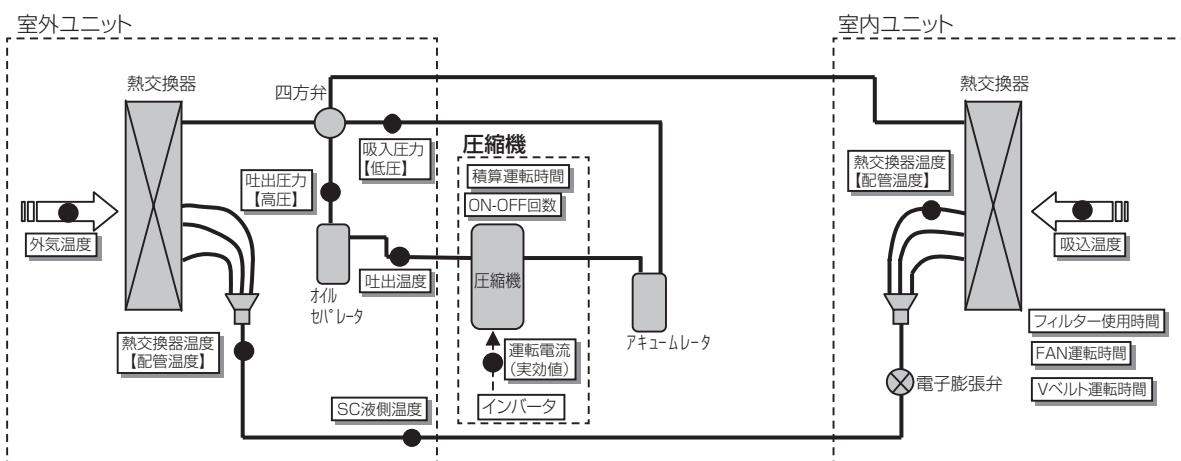
- 作業の手間を大幅に削減します。
- 室内に居ながら室外・内ユニットの運転データをリモコンで確認可能です。

#### ■メンテナンス情報

圧縮機	積算運転時間 ※ 2
	ON-OFF 回数 ※ 1
	運転電流
室外ユニット	熱交換器温度【配管温度】
	外気温度
	吐出圧力【高圧】
	吸入圧力【低圧】
	吐出温度
	高圧圧力飽和温度
	SC 液側温度 ※ 3
	吸込温度
室内ユニット	フィルター使用時間
	FAN 運転時間 ※ 2
	V ベルト運転時間 ※ 2
	熱交換器温度【配管温度】
	吸込温度

- ※1 圧縮機 ON-OFF 回数は 100 回単位でデータ更新します。  
例：実際の圧縮機 ON-OFF 回数が 99 回の場合、リモコン表示は 0 回となり、101 回の場合、リモコン表示は 100 回となります。
- ※2 圧縮機積算時間、FAN 運転時間、V ベルト運転時間は、10 時間単位でデータ更新します。  
例：実際の運転時間が 9 時間の場合リモコン表示は 0 時間となり、11 時間の場合リモコン表示は 10 時間となります。
- ※3 本機種では、SC 液側温度サーミスターがないため、SC 液側温度は「未対応」と表示されます。

#### ■メンテナンス情報イメージ



#### 運転時間積算利用時の注意事項

- (1) 端数の取扱い
 

通電が停止するとカウントされる前の端数 (FAN 運転時間・V ベルト運転時間は 1 ~ 9 時間、圧縮機積算運転時間、フィルター使用時間は 1 ~ 59 分) は 0 に戻ります。  
運転時間積算を利用する時は、通電したままにしてください。  
なお、通電が停止してもすでにカウントされた積算時間 (FAN 運転時間・V ベルト運転時間は 10 時間単位以上、圧縮機積算運転時間、フィルター使用時間は 1 時間単位以上) は保持されます。
- (2) フィルター使用時間
 

“フィルター清掃”表示設定時はリモコン操作により使用時間がリセットできます。  
非表示設定時はリセットできません。(33 ページ参照)
- (3) P670 ~ 1600 形のファン運転時間、V ベルト運転時間
 

室内ユニット 1 台に複数の基板がある機種のファン運転時間と V ベルト運転時間は、No.1 基板 (一番若いアドレス) で確認ください。

## (1) メンテナンスマード操作方法

\*データモニタリング機能を使用する時は室外・室内ユニットのパネルを外さないでください  
(ユニットが運転した場合ケガをするおそれがあります)。

### メンテナンスマードへの切換え

メンテナンスマードには、運転中にのみ切換えしてください。

※ユニット停止中・点検中はメンテナンスマードへ切換えしないでください。

※試運転中は入れません。

※リモコン從設定の場合は、メンテナンスマードには入れません。

※集中管理中はメンテナンスマードには入れません。

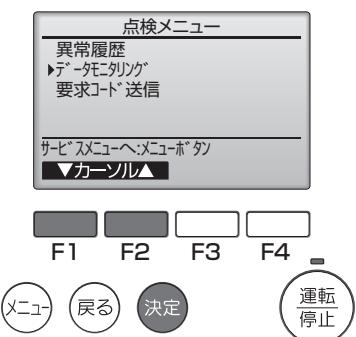
#### 操作方法

1



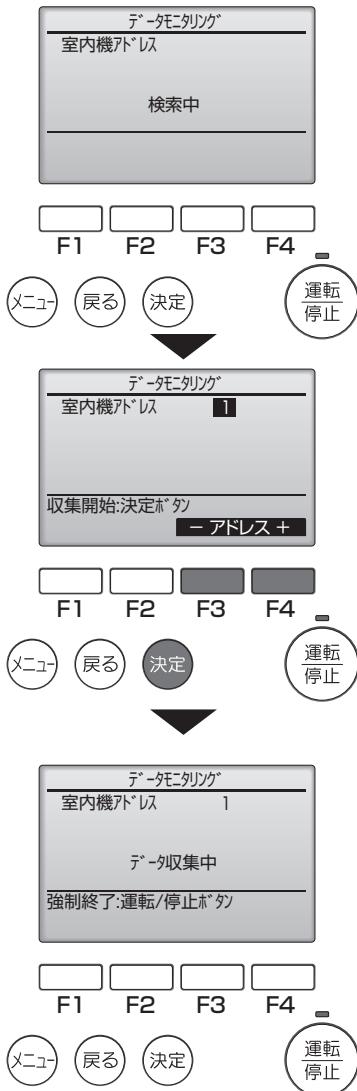
サービスメニュー画面で、F1 F2ボタンを操作して「点検」を選択し、決定ボタンを押してください。

2



点検メニュー画面に移行し、F1 F2ボタンを操作して「データモニタリング」を選択し、決定ボタンを押してください。

# 3



データモニタリング画面に移行し、リモコンに接続された室内ユニット（制御基板）の最小アドレスを検索し、アドレスが表示されます。

[F3] [F4] ボタンを操作して室内ユニット（制御基板）アドレスを選定し、[決定]ボタンを押してください。

# 4

データの収集が開始され、約5分後データ収集が完了します。収集されるデータは、(3)で選択したアドレスの室内ユニット（制御基板）情報およびこの室内ユニットと同一冷媒系に接続された室外ユニットの情報になります。[F1][F2]ボタンを操作すると各ユニット情報が表示されます。

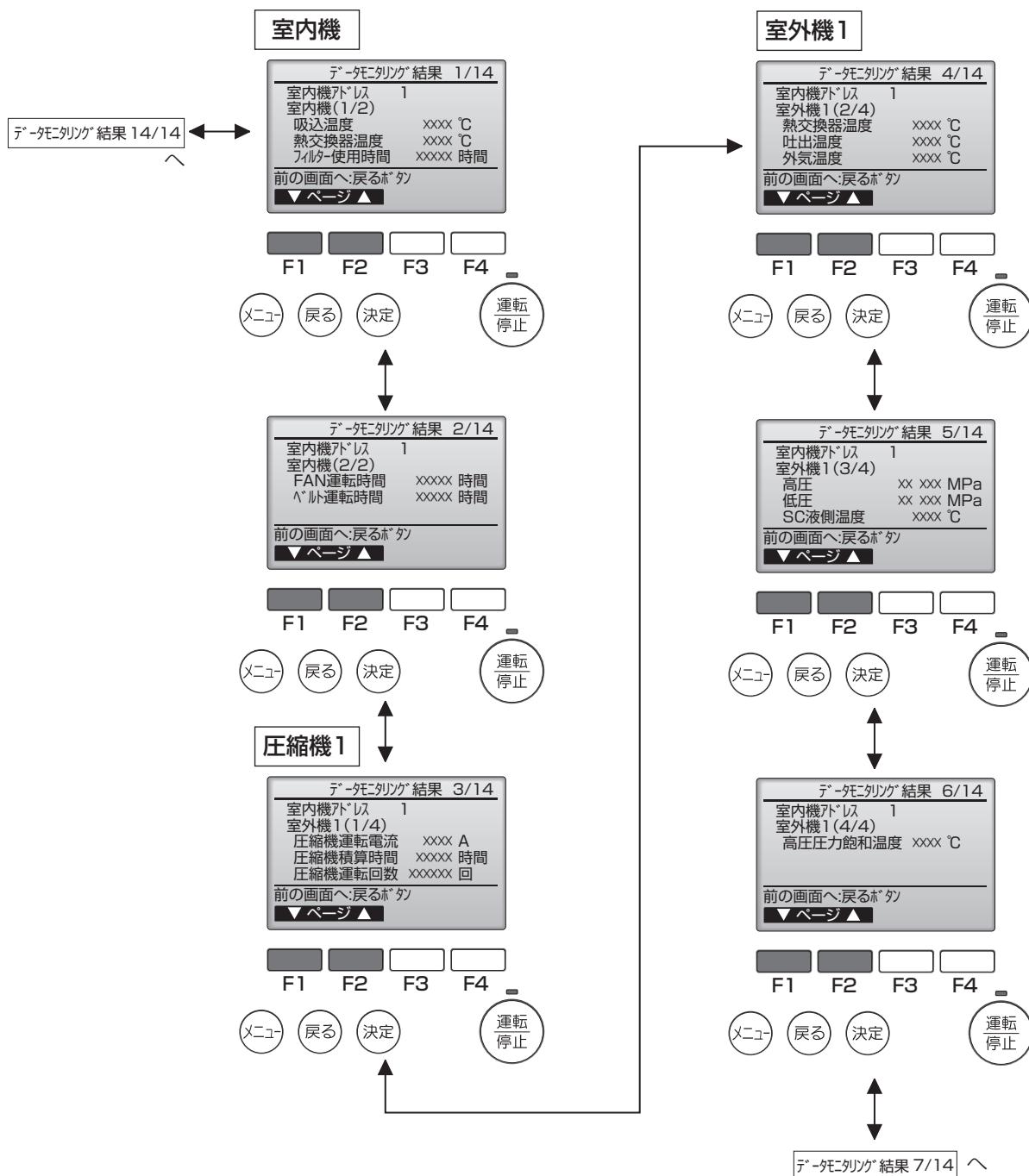
※圧縮機の運転電流はインバータから圧縮機への電流の実効値になります。

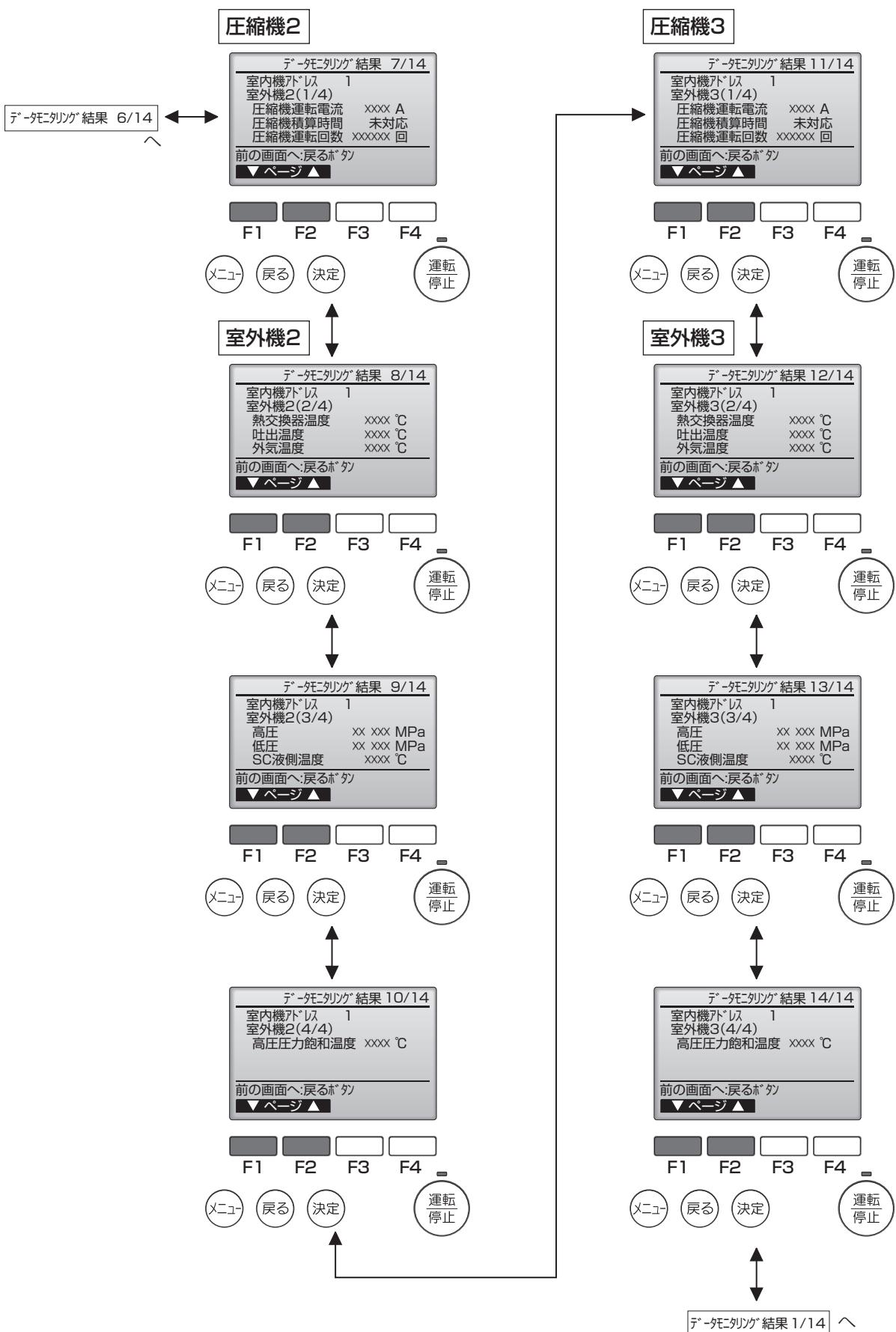
※本機種では、SC液側温度サーミスターがないため、SC液側温度は「未対応」と表示されます。

※[F1][F2]ボタン操作により画面が遷移します。

※室外ユニット2(OS1)、室外ユニット3(OS2)が接続されていない場合は、

室内機、圧縮機1、室外機1の内容のみ表示されます。

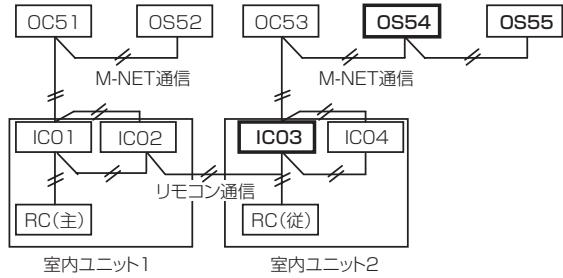




# 5

データモニタリングを解除する場合は、[メニュー]または[戻る]ボタンを押してください。

## ●操作例



室外ユニット、圧縮機のデータをモニタリングする場合、必ず各室外ユニットに接続されている(M-NET通信線)室内ユニットアドレスを選定してください。

### 一操作例一

■上記システムの室内ユニット2に接続された室外ユニット(OC53, OS54, OS55)の情報をモニターする場合

①室内ユニットアドレス03を設定します。

モニターする各ユニットの表示は下記となります。  
・室内機 =IC03  
・室外機1 =OC53  
・室外機2 =OS54  
・室外機3 =OS55  
・圧縮機1 =OC53  
・圧縮機2 =OS54  
・圧縮機3 =OS55

※室内ユニットアドレス01設定時。

モニターする各ユニットの表示は下記となります。

・室内機 =IC01  
・室外機1 =OC51  
・室外機2 =OS52  
・圧縮機1 =OC51  
・圧縮機2 =OS52

※室内ユニットアドレス01、または02を設定している場合、  
IC03、04、OC53、OS54、OS55の情報はモニターできません。

## データを個別にモニタしたい場合

操作方法

1



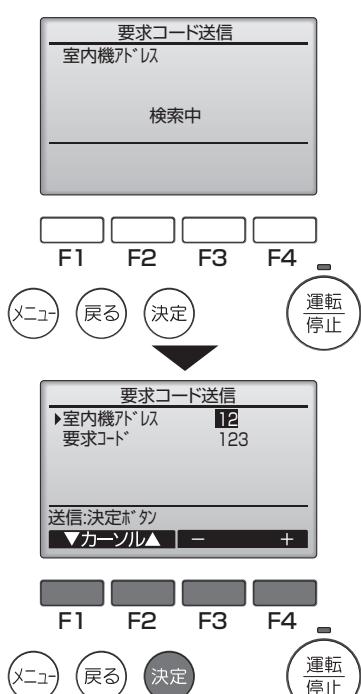
サービスメニュー画面で、**F1** **F2**ボタンを操作して「点検」を選択し、**決定**ボタンを押してください。

2



点検メニュー画面で、**F1** **F2**ボタンを操作して「要求コード送信」を選択し、**決定**ボタンを押してください。

3

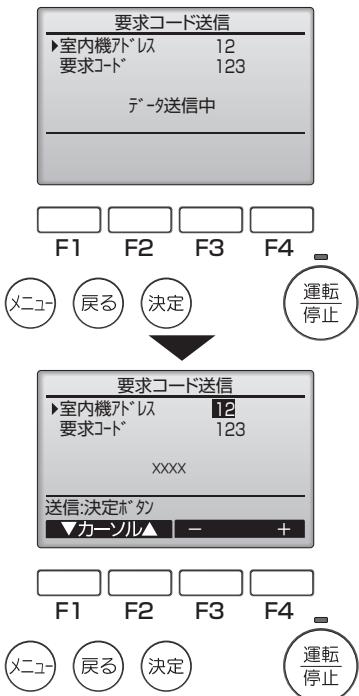


要求コード送信画面に遷移し、リモコンが接続された室内ユニット（制御基板）の最小アドレスを検索し、アドレスが表示されます。

**F1** **F2** **F3** **F4**ボタンを操作し、下表からモニタしたいユニット情報の項目の要求コードを設定し、**決定**ボタンを押してください。

データモニタ先	モニタ項目	要求コード	表示単位
圧縮機1	運転電流	1	A
	積算運転時間	2	hr
	ON-OFF回数	3	回
室外機1	吐出温度	4	℃
	外気温度	9	℃
	吐出圧力【高圧】	50	MPa
	吸込圧力【低圧】	51	MPa
	熱交換器温度【配管温度】	52	℃
	SC液側温度	84	℃
圧縮機2	高圧圧力飽和温度	97	℃
	運転電流	53	A
	積算運転時間	54	hr
	ON-OFF回数	55	回
	吐出温度	56	℃
	外気温度	57	℃
室外機2	吐出圧力【高圧】	59	MPa
	吸込圧力【低圧】	60	MPa
	熱交換器温度【配管温度】	61	℃
	SC液側温度	84	℃
	高圧圧力飽和温度	99	℃
	運転電流	62	A
圧縮機3	積算運転時間	63	hr
	ON-OFF回数	64	回
	吐出温度	65	℃
	外気温度	66	℃
	吐出圧力【高圧】	68	MPa
	吸込圧力【低圧】	69	MPa
室外機3	熱交換器温度【配管温度】	70	℃
	SC液側温度	84	℃
	高圧圧力飽和温度	101	℃
	熱交換器温度【配管温度】	71	℃
	フィルター使用時間	73	hr
	吸込温度	74	℃
室内機	FAN運転時間	154	hr
	Vベルト運転時間	155	hr

# 4



データの収集が始まり、約10~20秒後にモニタしたデータが表示されます。

## ファン運転時間／ベルト運転時間リセット操作方法

### 操作方法

1



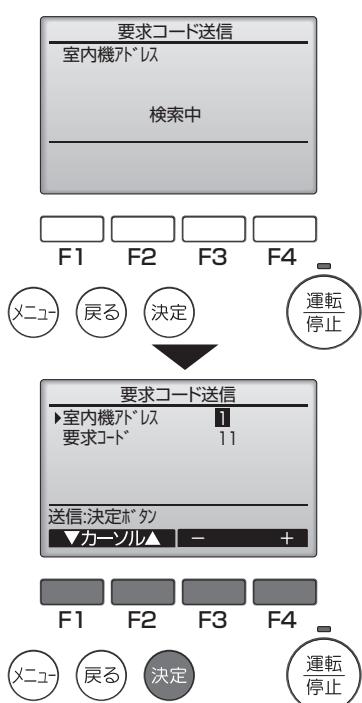
サービスメニュー画面で、**F1** **F2**ボタンを操作して「点検」を選択し、**決定**ボタンを押してください。

2



点検メニュー画面で、**F1** **F2**ボタンを操作して「要求コード送信」を選択し、**決定**ボタンを押してください。

3

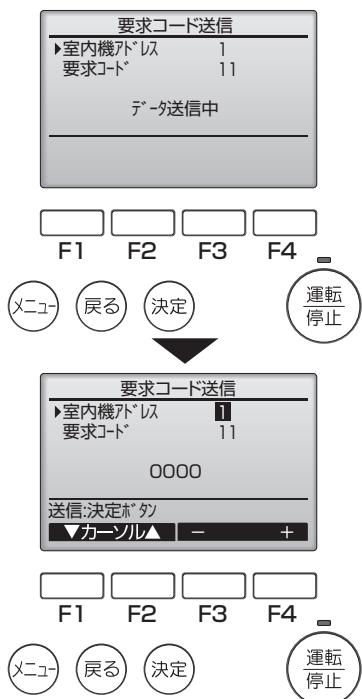


要求コード送信画面に遷移し、リモコンが接続された室内ユニット（制御基板）の最小アドレスを検索し、アドレスが表示されます。

**F1** **F2** **F3** **F4**ボタンを操作し、リセットしたい室内ユニット（制御基板）のアドレス、および下表からリセットしたい情報の要求コードを設定し、**決定**ボタンを押してください。

データモニタ先	設定項目	要求コード	表示単位
室内機	FANモーター運転時間リセット	11	—
	Vベルト運転時間リセット	12	—

# 4



データがリセットされます。

# 4. お手入れのしかた

## ⚠ 警告

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。

- ・けが・感電のおそれあり。
- ・ファン・回転機器により、けがのおそれあり。



## ⚠ 注意

部品端面・ファンや熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- ・けがのおそれあり。



接触禁止

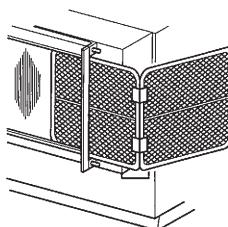
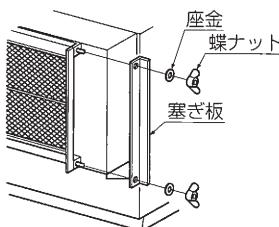
### 4-1. エアフィルターの清掃

- エアフィルターにゴミがたまると、冷暖房能力の低下や故障の原因になります。

#### [1] エアフィルターを取り外す。

##### ■P670・800形の場合

吸込フランジの内側に取付けられています。左右どちらからでも取出すことができます。

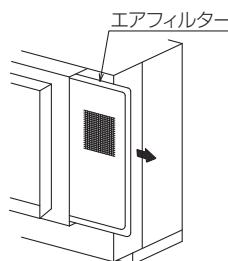
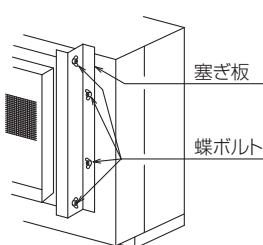


1. 吸込フランジの横側上下についている蝶ナットを緩め、塞ぎ板を取り外します。

2. 吸込フランジの中に入っているフィルターを横へ引き出します。フィルターは2分割となっています。

##### ■P1120・1400・1600形の場合

吸込フランジの内側に取付けられています。左右どちらからでも取出すことができます。



1. 蝶ボルトをはずして、塞ぎ板を取り外します。

2. 吸込フランジの中に入っているフィルターを横へ引き出します。フィルターは3分割となっています。

## ⚠ 注意

フィルターを取り外す場合、保護具を身につけること。

- ・ホコリが目に入り、けがのおそれあり。



フィルターの点検・清掃は専門業者がすること。

- ・けがのおそれあり。



お願い:

エアフィルターを外した状態で運転しないでください。  
・ユニット内部にゴミが詰まり、故障のおそれあり。

---

## [2] 取外したエアフィルターのホコリを掃除機で吸収するか、水洗いする。

- 汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗ってください。
- 50°C以上の熱いお湯をかけないでください。変形することがあります。
- もみ洗いや強く絞ることはさけてください。
- すぎは十分に行い、洗剤が残らないようにしてください。



## [3] 水洗いしたときは、日陰でよく乾かす。

直射日光や直接火に当てて乾かさないでください。変形・変色することがあります。

## [4] エアフィルターを元どおりに取付ける。

---

## 4-2. パネルの清掃

中性洗剤をやわらかな布にふくませて拭き、最後に乾いた布で洗剤が残らないように拭きとります。



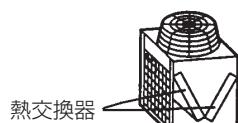
ベンジン・シンナーは使用しない。



---

## 4-3. 热交換器の洗浄

長時間エアコンを使用しますと、エアコンの熱交換器にホコリなどがつき、熱交換が悪くなつて冷暖房能力が低下します。  
洗浄方法についてはお買い上げの販売店にご相談ください。



---

## 4-4. ユニット内部品のお手入れ

加湿器を組込んでご使用される場合、水質や使用条件によってはユニット内部の金属製部品が錆びることがありますので、加湿シーズン前後に確認し、錆がある場合はお買い上げの販売店もしくは保守点検契約を結んでいるサービス会社にご相談ください。

## 4-5. Vベルトの張り調整

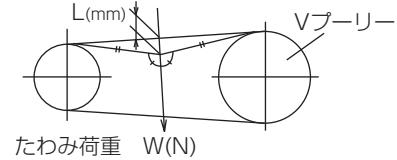
室内送風機のVベルトは、運転時間の経過と共に全長が伸びて張力が低下します。

この状態で運転を続けると、変磨耗や異常音が発生し、故障の原因になります。

Vブーリーの調整等詳細は、お買い上げの販売店にご相談ください。

### 【調整時期】

- ・初回： 24～28時間後
- ・2回目以降： 2000時間毎
- ・交換： 5000時間毎



ベルトの一本当たりの張力は、たわみ量Lの値を下式にて計算し、その時のたわみ荷重Wが下表の範囲内になるようにセットしてください。

$$L = 0.016 \times C \quad C: \text{ブーリーの軸間距離 (mm)}$$

製品形名	モーターブーリー (PC φ) 50/60Hz	ファンブーリー (PC φ)	Vベルト	たわみ荷重 W(N/本) 50/60Hz
P670	125/125	300	B53・2本	19/17
P800	145/145	300	B53・2本	25/22
P1120	160/160	355	B93・2本	29/25
P1400	165/165	355	C91・2本	42/37
P1600	165/165	355	C91・2本	42/37

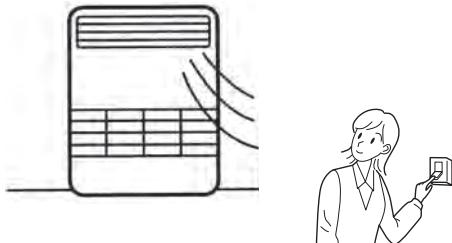
※新しいベルトを張る場合は、たわみ荷重Wの約1.15倍程度に調整するようしてください。

※上記静風圧部品以外での組合せのベルトたわみ荷重の値は、マニュアルなどを参照ください。

# 5. 長期間ご使用にならないとき

## 5-1. 長期間ご使用にならないとき

- (1) 4～5時間、送風運転して室内ユニット内部を乾燥させる。



- (2) 室内・室外ユニットの電源を切る。

## 5-2. 再度使い始めるとき

■下記作業(1)～(4)の点検を行い、異常のないことを確認後、電源を入れてください。

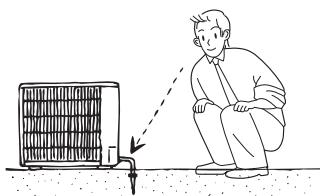
- (1) フィルターを清掃して、取付ける。



- (2) 室内・室外ユニットの吹出口・吸入口がふさがっていないことを確認する。



- (3) アース線が外れていないことを確認する。室内ユニットにも取付けてある場合があります。  
据付工事説明書を確認し対応してください。



- (4) ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどのないことを確認する。



- (5) 運転開始の12時間以上前から必ずエアコンの電源を「入」にする。

# 6. 「故障かな？」と思ったら

## ■ 動かない！

リモコンの運転表示が点灯しない。	●電源が入っていないことが考えられます。電源をご確認ください。ユニットの電源が入っていないと、リモコンは表示されません。
リモコン表示部に“集中管理中”的表示がでている。	●集中コントローラー等で、操作を制限されている場合に表示します。 ●運転操作設定を遠方（外部）入力にしている場合に表示します
リモコンの運転表示が点灯するが、室外ユニットが運転しない。	●室内ユニット、もしくは室外ユニットへデマンド入力されている場合、室外ユニットが運転しません。

## ■ 勝手に動き出した！

運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。	●リモコンで入タイマー運転を設定されると指定された時刻に自動的に運転を開始します。 ●外部入力信号にて ON 操作した場合に運転を開始します。 ●電源発停機能に設定している場合、室内ユニットの電源を入れると自動的に運転を開始します。 ●停電自動復帰機能に設定している場合は、運転中に停電または電源を切ったとき電源を入れると、自動的に運転を開始します。 ※電源発停機能および停電自動復帰機能を使用しない場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。
-----------------------	---

## ■ 勝手に停止した！

運転・停止ボタンを押さないのに停止した。	●リモコンで切タイマー運転を設定されると指定された時刻に自動的に運転を停止します。運転・停止ボタンを押して運転を再開してください。 ●外部入力信号にて OFF 操作した場合に運転を停止します。 ●外部入力信号を重複して入力すると運転を停止します。
----------------------	---

## ■ 運転が止まらない！

停止ボタンを押したのに停止しない。	●暖房運転中に停止ボタンを押されると、余熱排除のため約 1 分間、室内ファンが回ることがあります。 ●ベーパーパン加湿器を組んだ場合、水蒸気発生防止のため約 3 分間、室内ファンが回ることがあります。 ●室内ユニットの設定によっては、余熱排除のため、運転停止後約 3 分間室内ファンが回ることがあります。さらに別売ベーパーパン加湿器を組んだ場合は、最大約 6 分間室内ファンが回ることがあります。
-------------------	--

## ■ よく冷えない、暖まらない！

よく冷えない。よく暖まらない。	●温度調節を確認して、設定温度を調節してください。 ●フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下している場合は、フィルターの清掃をしてください。 ●室内ユニットの吹出口・吸入口が塞がれている場合は、室内ユニット周囲空間を広く開けてください。
再運転のために停止後すぐに運転・停止ボタンを押したがすぐ冷房（暖房）運転しない。	●空調機を保護するため、マイコンの指示で止まっています。 再運転をした場合は、冷房（暖房）運転するまで約 3 分間お待ちください。

## ■ 音がする！

水の流れるような音や時々“プシュ”と音がする。	●ユニット内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切換わるときの音です。 異常ではありません。 ※もし気になるような音の場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。
“ピシッ、ピシッ”という音がする。	●温度変化で部品などが膨張・収縮して、こする音です。 異常ではありません。 ※もし気になるような音の場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。

## ■ 水蒸気・水（室内ユニット）が出る！

室内ユニットより白い霧状の水蒸気がでる。	●室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。 異常ではありません。 ●霜取運転時、冷気が下りてきて霜状に見えることがあります。
室外ユニットより水・水蒸気がでる。	●冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき滴下するためです。 ●暖房時に熱交換器についた水が滴下するためです。 ●霜取時に熱交換器についた水が蒸発し、水蒸気がでることがあります。

## ■ すぐに風が出てこない！

暖房運転にしたとき、すぐに風がでない。	●十分に暖かな風をおとどけるための準備中です。 リモコンに“暖房準備中”が表示されます。そのままお待ちください。
---------------------	---

## ■ 暖房中運転、運転が止まる！

暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。	●外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。 この霜を溶かしています。そのまま約7分（最大12分）ほどお待ちください。
---------------------------	---

## ■ リモコン設定および表示について

リモコンに“＊＊%”の表示がある。	●初期設定（約5分）を行っているためです。そのままお待ちください。 停電からの復帰時や室内ユニットまたは室外ユニットの電源を入切した場合など表示します。
リモコンにエラーコードが表示される。	●自己診断機能が作動してエアコンを保護しています。 ※自分では絶対に修理しないでください。エアコンの電源を切り、お買い上げの販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。

# 7. 保証とアフターサービス

■この製品は日本国内用ですので、日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。  
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

■ご不明な点や修理に関するご相談はお客様相談窓口（別添）にお問い合わせください。

■機器予防保全の目安【保全周期は保証期間を示しているものではありません。】

下記は、以下のご使用条件の場合です。

(1) 頻繁な発停のない、通常のご使用状態である事。（機種によって異なりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回／時間以下を目安としています。）

(2) 製品の運転時間は、10時間／日、2,500時間／年と仮定しています。

また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。

① 温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。

② 電源変動（電圧、周波数、波形歪み等）が大きい場所でご使用される場合。（許容範囲外での使用はできません）

③ 振動、衝撃が多い場所に設置されご使用される場合。

④ 霧埃、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。

⑤ 頻繁な発停のある場合、運転時間が長い場合。（24時間空調等）

表-1. 「点検周期」および「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]	主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間	膨張弁	1年	20,000時間
モーター (ファン、ルーバー、ドレンポンプ用など)		20,000時間	バルブ (電磁弁、四方弁など)		20,000時間
ベアリング		15,000時間	センサー (サーミスター、圧力センサーなど)		5年
電子基板類		25,000時間	ドレンパン		8年
熱交換器		5年	アクティブフィルター (AF基板、RF基板、ACファン) ※3		4年
容器 (アキュムレータなど)		20,000時間			

※1 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。

※2 この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。また保守点検契約の内容によっては本表よりも、点検・保全の周期が短い場合があります。

※3 製品の運転時間が10時間／日、2500時間／年よりも長くなる場合のみ対象とします。

●定期点検実施の場合でも予期できない突発的偶発故障が発生する事があります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。

●補修用部品の保有期間について

このエアコンの補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後9年間となっています。

当社はこの基準により補修用部品を調達したうえ修理によって性能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理を実施致します。

●電気部品に絶対に水（洗浄水等）をかけないでください。

■消耗部品の交換周期目安【交換周期は保証期間を示しているものではありません。】

表-2. 「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期	主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1年	5年	ヒューズ	1年	10年
高性能フィルター		1年	加湿エレメント		5年
ファンベルト		5,000時間 ※3	クランクケースヒーター		8年
平滑コンデンサー		10年			

※1 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。

※2 この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のためにお役立てください。

※3 ファンベルトは定期的な調整が必要です。詳細は68ページをご参照ください。

---

■エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロ等の火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が完全に行われたことをサービスマンに確認してください。

■アフターサービスご契約のおすすめ

- 当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検を致します。万一の故障時も早期に発見し適切な処置を行う事が出来ます。

■保証書について[保証期間は、お買い上げ日または据付日または試運転完了日から起算して1年間です。]

- 保証書はお買い上げの店で所定事項を記入しお渡ししますので、記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 保証期間中、万一故障した時は、お買い上げの店または指定のサービス店にご連絡ください。  
保証書の記載事項に基づいて1年間は無償修理致します。[保証期間経過後の修理は有償になります。]  
保証期間中でも有償になる場合もありますので、保証書をよくお読みください。
- 良好な状態で長く安心してご使用いただくために、お客様に実施していただく日常点検（フィルター清掃など）以外に専門技術者による定期的な保守点検を実施してください。  
標準的な保守点検の、「点検周期」および定期点検に伴う「保全周期」「主要部品の交換・修理実施周期」は、表-1を目安にされると便利です。また、代表的「消耗部品」の例を表-2に示します。  
なお、保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時によくお確かめください。

■移設および廃棄について

- 転居などでエアコンを移動再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。
- エアコンを廃棄される時は冷媒の回収などが必要ですので、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。

# 8. 移設・工事・点検について

## ■移設について

① 増改築・引越しのためエアコンを取外したり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。

② 据付けや移設時に冷媒を追加充てんする場合は、指定冷媒以外のものを混入させないでください。

**この製品はフロン排出抑制法・第一種特定製品です。**

●フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。

●この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要ですので、必ず専門の回収業者に依頼してください。



この表示は、パッケージエアコンに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることをご認識いただくための表示です。エアコンの取外し時は、フロン類の回収が必要です。

## ■設置場所について

① 設置・移設する場合は、販売店または専門業者にご相談ください。

② 次の場所への据付けは避けてください。

- ・可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
- ・酢（酢酸）を多量に使用するところ
- ・海浜地区等塩分の多いところ
- ・温泉地などの硫化（イオウ系）ガスの発生するところ
- ・酸性の溶液を頻繁に使用するところ
- ・炎の近くや溶接時のスパッターなど火の粉が飛び散るところ
- ・粉や蒸気が多量に発生するところ
- ・油煙のたちこめるところ
- ・湿気の多い場所
- ・高周波加工機のあるところ
- ・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ

など、エアコンの周囲雰囲気が特殊な場所で使用しますと、多くの場合エアコンの故障のもとになります。

詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

③ 室内ユニットは必ず水平に据付けてください。水たれなどの原因となります。

④ 病院・通信事業所などに据付けされる場合は、ノイズ発生源を遮断して施工してください。

## ■保守点検契約のおすすめ

●エアコンを数シーズンご使用になると内部が汚れ、性能が低下することがあります。ご使用状態によっては臭いが発生したり、ゴミ、ホコリなどにより除湿水の排水が悪くなることがあります。通常のお手入れとは別に保守点検契約（有料）をおすすめします。

## ■電気工事について

① 電気工事は、電気工事士の資格がある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付工事説明書に従って施工してください。

② 電源はエアコン専用の回路を設けているか販売店にご確認ください。他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカー やヒューズが切れることができます。

③ 万一の感電防止のため、アースを取付けてください。

詳しくはお買い上げの販売店にご確認ください。

④ 据付場所によっては、漏電ブレーカーの取付けが義務付けられています。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

⑤ ブレーカー・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

## ■騒音にもご配慮を

① 据付けにあたっては、エアコンの質量に十分耐え、騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。

② 室外ユニットの吹出口からの冷温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。

③ 室外ユニットの吹出口の近くに物を置きますと、性能低下や騒音増大のもとになりますので、吹出口付近には障害物を置かないでください。

④ エアコンをご使用中、異常音がする場合などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

# 9. 仕様

## 9-1. 標準タイプ床置形 製品仕様表

標準仕様

項目	形名	室内ユニット		室外ユニット		室内ユニット		室外ユニット		室内ユニット		室外ユニット	
		ASVP670HA2	AUCV(S)280HA2	AUCV(S)400HA2	ASVP800HA2	AUCV(S)400HA2	AUCV(S)450HA2	ASVP1120HA2	AUCV(S)335HA2×2台	AUCV(S)450HA2			
電源		三相 200V 50/60Hz											
冷房能力(最大)(kW)		60.0 (67.0)			71.0 (80.0)			100 (112)					
暖房能力(最大)(kW)		63.0 (71.0)			80.0 (90.0)			112 (126)					
外形寸法 ※3	高さ (mm)	1830	1650	1650	1830	1650	1650	1852	1650	1650			
	幅 (mm)	1750	920	920	1750	920	1750	1825	920	1750			
	奥行 (mm)	1064	740	740	1064	740	740	1333	740	740			
風量 (m³/min) ※3		210	170	185	260	185	(180×2)	360	(185)×2	(180×2)			
騒音値(dB) ※2	冷房	63			65	63.5			68	64.5			
	暖房												
製品質量(kg) ※3		416	182	193	436	193	268	608	(193)×2	268			

項目	形名	室内ユニット		室外ユニット		室内ユニット		室外ユニット					
		ASVP1400HA2	AUCV(S)400HA2	AUCV(S)500HA2×2台	ASVP1600HA2	AUCV(S)400HA2×2台	AUCV(S)450HA2×2台						
電源		三相 200V 50/60Hz											
冷房能力(最大)(kW)		125.0 (140)			140 (160)								
暖房能力(最大)(kW)		140.0 (160)			160 (180)								
外形寸法 ※3	高さ (mm)	1852	1650	1650	1852	1650	1650						
	幅 (mm)	1825	920	1750	2045	920	1750						
	奥行 (mm)	1333	740	740	1333	740	740						
風量 (m³/min) ※3		450	185	(180×2)×2	520	(185)×2	(180×2)×2						
騒音値(dB) ※2	冷房	69			66	66.5							
	暖房												
製品質量(kg) ※3		668	193	(268)×2	720	(193)×2	(268)×2						

※1 上記仕様値は標準条件での値です。風量機外静圧を変更しますと、能力、騒音値も変化します。

※2 上表の騒音値は、A 特性です。

※3 外形寸法・風量・製品質量は一台あたりの値を示します。

※4 セット形名 P1600 形の室外構成ユニットは、(P400 形+P450 形) × 2 の 2 冷媒系統です。

※5 能力欄の( )内は最大値を示します。

## 9-2. 別売部品

### ■標準床置タイプ

※ P1120・1400・1600 形は、受注対応となります。

#### ●補助電気ヒーター (P670・800 形のみ)

ユニット内に組込んで、配線工事をすることで暖房運転補助を行います。

#### ●加湿器 (ベーパーパン式・蒸気スプレー式)

暖房のときは室内の湿度が下がります。健康のためにも、家具や調度品などの乾きすぎをさけるためにも、適度な加湿が必要です。加湿器を組込むことにより室内を適当な湿度に保ち、理想的な暖房運転ができます。冷房運転での加湿はできません。

#### ●その他

圧力計・進相コンデンサー・遠方表示キット・遠方操作キットなど、豊富な別売部品を用意しています。

(上記別売部品は、機種により組込みできない場合があります。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。)

様式1 冷媒漏えい点検記録簿（汎用版）								年	月	日	～	年	月	日	管理番号						
施設所有者								設備製造者													
施設名称					系統名				設置年月日												
施設所在地					電話																
運転管理責任者					電話																
点検 事業者	会社名				責任者																
	所在地				電話																
使用冷媒		R410A	初期充填量 (kg)		点検周期	基準		<th>実績 (月)</th> <td></td> <td data-cs="6" data-kind="parent"></td> <td data-kind="ghost"></td> <td data-kind="ghost"></td> <td data-kind="ghost"></td> <td data-kind="ghost"></td> <td data-kind="ghost"></td> <td data-cs="4" data-kind="parent"></td> <td data-kind="ghost"></td> <td data-kind="ghost"></td> <td data-kind="ghost"></td>	実績 (月)												
作業年月日		点検理由		充填量 (kg)	回収量 (kg)	監視・検知手段 (最終)	センサー型式	センサー感度	資格者名	資格者登録 No.	チェックリスト No.							確認者			

● JRA\* GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持して頂くために、また、冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、定期的な冷媒漏えい点検（保守契約などによる、遠隔からの冷媒漏えいの確認などの、総合的なサービスも含む）（いずれも有償）をお願いいたします。

定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置した時から廃棄する時までの全ての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理（管理委託を含む）をお願いいたします。

なお、詳細は下記のサイトをご覧ください。\*JRA: 社団法人 日本冷凍空調工業会  
JRA-QI-14について: <http://www.jraqi.or.jp/jra-qidai.html>

・JRA GL-14について、<http://www.jraia.or.jp/index.html>  
コロン(漏き)い点検制度について、<http://www.jraia.or.jp/ro>

・プロン漏えい点検制度について、<http://www.jarac.or.jp/roe/>

愛情點檢

### ●長年ご使用のエアコンの点検を！

エアコン補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後9年です。



ご使用の際、  
このようなことは  
ありませんか？

- 運転音が異常に大きくなる。
  - 室内ユニットから水が漏れる。
  - 電源が頻繁に落ちる。
  - その他の異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

サービスをお申しつけになるときは次のことをお買い上げの販売店にご連絡ください

- ・エアコンのタイプ :
  - ・エアコンの形式名 :
  - ・ご 購 入 日 :
  - ・異 常 の 内 容 : できるだけ詳しく。点検表示灯が点滅したときは故障記号を…E 1～
  - ・ご 住 所 :
  - ・ご 氏 名 :
  - ・電 話 番 号 :
  - ・訪問ご希望日時 :

■お客様×干

ご購入店名：

## 電 話 番 号 :

担 当 者 :

ご 購 入 日 : 年 月 日

お客様ご相談窓口

アフターサービスはお買い上げ店にご依頼ください。なお、転居その他の理由でお買い上げ店にアフターサービスを依頼することができない場合は、下記のお客様相談センターにご相談ください。（電話番号は予告なく変更することがありますのでご了承下さい。）

三菱重工冷熱株式会社 空調サービス本部

お客様センター（修理受付・部品・技術相談）

 フリー<sup>コール</sup> 0120-975-365



三菱重工サーマルシステムズ株式会社  
三菱重工冷熱株式会社

〒108-8215 東京都港区港南2-16-5

〒108-0023 東京都港区芝浦2-11-5 五十嵐ビルディング

PRC012A006  
WT08608X01